京城日報
十四日夕刊

第三十七回帝國議會

○兵器賣却問題論戰

十三日の衆議院豫算總會

衆議院豫算委員總會は十三日午前十時四十分開會、今日は病氣中なりし大隈首相並に岡陸相出席せるより緊張の氣場内に漲る劈頭

△西村丹治郎氏（國民）歐洲戰爭以來交戰國に賣却したる兵器軍需品賣却額如何を訊し

△隈經理局長 戰爭開始以來賣却兵器代金は總計六千五百九萬四千七百三十三圓にして尚ほ羅紗靴賣却代金一千九百四十七萬八千四百二十八圓なりと答へ西村氏大正三年度の賣却代は何れに組入あるやと問ひ

△市來主計局長 右は一般會計に繰入れずして砲兵工廠特別會計作業收入に繰入れたりと陳べ收入繰入方法に就き二、三推問答あり更に西村氏六千萬圓の兵器と云へば砲兵工廠のみ保ち居る丈けに止まらず陸軍工廠へ引渡後のものもある可し其幾部分が新式にて幾部分が舊式なりやと訊し△隈經理局長 詳細は軍機の機密に關するも大要は書面を以て答辯す可しと答へ、次いで

△齋藤珪次氏（政友） 政府は兵器を外國へ讓渡すといへるが賣却と其の意味異なれるや又將來注文の込み如何と訊し隈局長國交の情誼に依り賣却したるものなるを以て讓渡すといへり又將來の讓渡額並に其時期に就ては軍機上答辯し難しと答へ、更に齋藤氏 六千萬以上の軍器を賣却し其補塡未だしとせば兵器の充實完しと言ひ難し而て其代金を總て工廠作業に繰入れるは軍が設備費を還く主旨に反す 何故政府は公然其補塡を豫算に組入れざりしや又協約に依る交渉の讓渡しなりとすれば何故太平組の如きものゝ手を經て之に五分以上の利益を得せしむることゝせるや倘政府は將來太平組の手を經んとするや否や民間に兵器製造會社起らば政府は之を指導援助するの意志無きやと問ひ之に對し

△岡陸相 病後とて顏色憔悴元氣無き辭にて目下軍器に毫も缺陷も無く動員計畫の必要に充分なり又砲兵工廠作業會計には何等の曖昧なし太平組に對しては暴利を貪らしめざる爲め手數料を拘束し最初五歩なりしを三歩とし最近二歩とせり將來同組合に對しては格別の考へ無し民間に充分なる兵器製造會社出來信用するに足る者とせば充分援助す可しと慇懃に陳べ作業會計に組入れたるに就ては隈經理局長一般會計に入るゝよりも作業會計に組入るゝこと便利とせるに因る倘ほ諸規約は交戰國の機密に關するを以て述べ難しと辯じ小川平吉氏武藤金吉氏より首相は午後出席する樣委員長に要求し午後零時十分休憩（東京特電）

○質問戰蔗境に入る

十三日午後の豫算總會

▼大浦事件窮追

豫算委員總會は午後一時再開大隈首相に杖を差しはさみ出席齋藤珪次氏（政友）午前に引き續き賣却兵器擔保票の提出を迫り岡陸相之れを承諾し續て

△小川平吉氏（政友） 先づ大隈首相の病軀を推して出席せる勞を謝し先づ首相は大浦氏の議員買收當時其の事情を知れるや否やと問ひ 首相低聲にて勿論之れを知る筈なしと答へ小川氏尾崎氏が公衆の席にて某代議士に漏したる處を聞くに議員操縱は大浦氏に委任されありたるが如し如何と突き込み首相大浦氏は同志會出身なりしを以て自然議員を率ゆることに關係したるべきも議員操縱を一任したることなしと受け流し小川氏さらば三十五議會の反對黨並に議會の形勢は主として大浦氏より聽取せざりしやと質せば首相議會の形勢は敢て他より聽かずも當時承知し居れりと云ひ政黨の離散は有り勝ちのことにして予は當時大浦氏より何等聞きたることなし 小川氏更に重ねて問ひつむれば首相依然として政友會の形勢に見て解散の外なしと思惟せりと答へ

▼首相惡戰苦鬪

小川氏鋒を轉じて内閣居据理由に付き訊す所あり之れに對し

△大隈首相 は是れ重大問題にして余は大浦問題の起るや監督不行屆の故を以て辭表を闕下に捧呈せり然るに内閣の時局益々困難にして國運愈々重大なるものあるを以て優渥なる聖旨に依り微力を顧みず其の職に留ることに決せりと答へ 小川氏辭表捧呈は内閣監督不行屆といふことにして大浦事件に就ては責任を感せざりしや一木内相は留任理由は之れに代るべきもの無かりし爲めなりといへり如何、首相監督不行屆の責ありと信ずまた後繼内閣困難なるを知らざりしにあらざるも其れよりも内外の事情に重大なるを感じたればなりと答へ

△小川氏 内外の事情重大なる故を以て監督不行屆の責を解除したりと信ずるやとなじり首相内閣監督不行屆の責任は聖旨に依り解除したるものと信ずときめつけ與黨側の拍手を受け小川氏首相へ内閣監督不行屆とは内閣官制の何條にありやとの一木内相答辯せんとしたるも小川氏之れをさへぎり已むなく

△大隈首相 總理大臣は行政各部の統一を計る責任あり即ちこの意味に於て不行屆の責を負ひたり小川氏行政統一と議員買收に歸因する内相の瀆職とは別問題なり首相は何時斯る權限を陛下より附與せられたるや監督不行屆とは有りもせぬ權限を以て陛下を動かし奉る不當不良の行爲にして同時に陛下を賺し奉るものなりと難詰したるも首相默して答へず與黨より野次を放ちて氣勢を揚げ野黨亦た之れに應じ議場騷然たりしも間もなく平靜に歸し

▼授爵問題問答

小川氏續て乃木家の襲爵は首相に於て不當と認めざるかと質し

△大隈首相 皇室令の改正により授爵は全然宮内省に讓れりと答へ小川氏今回多數の實業家其他の授爵あり是れ亦た知らざるやと質問するや首相實業家學者其他の授爵は適當と認め相談にあづかれりと言明し小川氏論鋒を再轉して對支外交につき質す所あり首相新條約締結後の支那の國狀は滿足なりといひ得ざるも日支兩國民の感情は大體に於て親密を維持し居れり

△小川氏 更に帝政延期警告の時機方法を失したる理由を質し滔々數萬言小川氏の面目始めて躍如たり而かも外相の答辯たるや帝政強行は支那内亂の虞れあり警告は友誼的なりとて前日來の答辯を繰返したるに過ぎず

▼印度人追放の答辯

次に印度人追放問題に就き質す所あり之れに對し

△一木内相 彼等は日本に來る以前米國に於て獨逸人と通じ印度に於て叛亂を企てんとせる證據現はれたるに依り追放せり是れ國際法に依るにあらず國家自衞の爲なりと辯じ

△齋藤珪次氏（政友） 交つて乃木問題、大浦問題に對する質問を連發し之れに對し首相は多く前質問に對すると同一の答辯を繰返し唯だ加藤前外相若槻前藏相の辭職は政黨及び個人の關係に依り辭職したるものなりと辯ず

▼更に質問繼續

此の時片岡委員長豫算總會に於ける質問は十四日を以て終了せしめては如何と諮りたるに野黨側の反對旺んなりしかば猶ほ繼續するに決し望月小太郎氏（同志）に發言を許すや望月氏は外相に對し八百長的質問をなして續て

△武藤金吉氏（政友） 産業奬勵其の他に關し河野農相に問ふ所あり農相の答辯要領を得ずとて町田參政官の答辯を求め續て鉾を航路補助問題に轉じ逓相運輸界の現狀は一時的現象なり之に依つて直ちに補助金を遞減するを得ずと答へ最後に武藤氏外交問題より大浦問題に對する尾崎法相の答辯を非難し法相の辯明ありて六時散會せり（東京特電）

▲上院豫算委員長

貴族院にては本會議散會後院内議話室に於て豫算委員總會を開き正副委員長を互選左の如く當選せり（東京特電）

豫算委員長 子爵 岡部長職
同副委員長 小松原英太郎

◎寺内總督參内

寺内總督は近日歸任に付十三日午前十時三十分參内 天機を奉伺し倘ほ御暇乞を言上して退出せり（東京特電）

雜報

◎主要農作物 累年生産狀況

米、麥、大豆、粟其他穀類の改良增殖に關しては總督府は勿論、各道共從來米に就ては優良品種の普及、乾燥調製の改良、灌漑設備の普及、施肥の奬勵等に力を用ひ、麥に就ては優良品種の普及、二毛作の奬勵、施肥、耕作法の指導に重きを置き、大豆に就ては種子の粒選、優良品種の普及に勉め、粟其他の雜穀に就ても亦意を種子の改良と施肥耕作法の指導に注ぎて品質の向上と收量の增加を圖り來りたる結果其の産額は累年著しき增加を示しつゝあり、大正二三兩年間の實收高並に本年の豫想高を舉ぐれば左の如し

種別	大正二年	大正三年	大正四年
米	一〇、〇九〇、六四五石	一三、一九九、一五七石	一二、三五七、六四五石
麥	五、九八〇、八〇七	六、七七六、七九〇	六、〇〇一、八六九
大豆	二、一四四、一〇四	二、四〇一、五六八	二、四六四、六〇三
小豆	八四六、一七二	七八五、三六二	七六四、八五七
粟	三、一一八、五二〇	三、七〇七、八四〇	三、三一三、四六四
綿	四三、三七九、三八三斤	五四、四四四、九四二斤	六九、一三五、三六七斤
繭	一九、四四〇	一八、八〇一	四六、一四四
牛	一〇〇、七三〇頭	一三一、〇一一頭	一三八、四〇一頭

◎水技官會同（第二日）

各道水産技術者會同第二日は十四日午前九時三十分より總督府第二會議室に參集出席者は第一日の如く石塚長官總裁の下に豫定の日程を議了し午後三時散會したり

◎定例長官會議

十四日は定例長官會議當日とて山縣政務總監以下各部長官、局長、代理課長等は午前十時より第一會議室に參集重要政務に就き打合せの上正午散會したり

◎協贊會慰勞宴

京城協贊會長吉原三郎氏（目下不在なるも代理を以て）は十四日午後六時共進會事務に關係ありし人々を清華亭に招待し慰勞の宴を開く

◎山形大佐容態

室谷博士主治醫の下に總督府醫院に入院加療中なる山形憲兵大佐腫物は其の後經過益々良好にして痛みも出膿も大に減少し最早や入院を必要とせざる程度の程にて元氣は素より談話も常時と異なるなきに至りたれば退院も遠からざる可し

◎大阪より

▲住友鑄銅組織變更 大阪西區安治川に於ける住友鑄銅所は從來住友家の事業として經營し來れるが之れを株式組織に變更し後日社會一般の資金を集め得るの素地を作り置くを緊要の事なりとし住友家にては今回其組織を變更し（株主廿八名）株式會社住友鑄鋼所と改稱し十日創立總會を開き資本金六百萬圓とし内五十萬圓拂込み左記の役員を選定したりと

▲社長住友吉左衛門 ▲常務取締役中田錦吉、同鈴木馬左也、湯川寛吉、山下芳太郎 ▲監査役住友忠輝、檢査役久保無二雄、同小倉正恒

▲大阪農工銀行 にては曩に三百萬圓增資を計畫したるも其筋の許可とならず爲めに百萬圓丈を增資して現今二百萬圓の資金を運用せる次第なるが今回更に愈々倍額增資の四百萬圓に改むる事の内議決定し目下重役は東上して其の下準備をなしつゝあり多分近く發表するならん（支局發）

人事消息

▲小泉昇平氏（山林課技師）慶北管内へ出張中の處此程歸任 ▲堀原文一氏（水産課技師）慶南管内へ出張中の處十日歸任 ▲池泰次郎氏（土木局技師）湖南線工事調査の爲め十二日黃海道へ出張 ▲岡田俊輔氏（專賣課技師）十二日歸任十四日より登廳 ▲中村光吉氏（鐵道大連出張所長）事務の引繼を終へ十四日午前本店に着任

南言北語

希臘が孤寶館をきめ込んで居る間に塞耳維は綺麗に滅亡した▲聲許りの聯合軍は何の勃牙利軍が面を合すと散々な目に遇つてサロニカに退却したらしい▲英軍は之れからサロニカを死守すると云つて居るが死守しなければ此處から最う退却イヤ背進は出來ないから不可でも死守するだらう▲守にも通りがある進んで守り退て守り止を得ず守るのだが英軍は其の後者に當るのだから困つたものぢや▲其れは左うと露西亞の三十五萬の大軍は何うしたのか所謂徐ろに進んで來るのかね來て見るとオヤ／＼になりはすまいか▲彼れやこれやの手違ひは協商國計りでもない樣なマッケンゼンは二箇聯隊の手兵を率ゐて君府に急行した▲彼れの事だから何にか又たやるのだらうと思つて居たら▲君府では陸相のエンヴエル、パシヤと内相のタラード、ベーとが大喧嘩を始めた▲其の原因は何の事か未だ分らぬがマッケンゼンがまあ／＼待たの止め役らしい▲エンヴエル、パシヤと云へば千九百八年の大革命の驍將で國民の景仰厚く今や兵馬の實權を握て居る男だ▲タラード、ベーは一内相の椅子に居るけれど實際に於ては土國のデーリテーターである彼は郵便局の一書記から身を起した男で彼の有名なフエダイーズを組織したのもベーである▲兩雄並び立たずの例に漏れぬのだらうが國家存亡の危機に瀕して此の内訌は自滅を速かならしむるものだ協商側から見れば之れが付け込み時だ此の機を逸してはなるまい▲袁總統もお望み通り皇帝になつて帝政派の連中はヘン其れ見ろつと五箇國に小便をひつかけた▲ひつかけられた御連中はオヤ／＼／＼でも相濟まい英佛露伊は兎に角お隣りの日本は何うするのだらうとは人を馬鹿にした話だ▲日比谷の議會で外交は由來秘密多くなんて石井外相がもつたい振つて居る中に之れ／＼▲今更遲いて一體全體けしからん／＼と向になつて見ると▲フン彼れは反古になつて鼻をかんで捨てましたと來るかも知れぬ▲イヤ怒るのは野暮だ面目玉は此の間踏み潰されて最うない筈だからナア

辱 皇后陛下 各宮殿下 御嘉納
國民新聞社編 定價五十錢郵稅入

理想の家庭

內容一斑

▲理想的家庭 德富猪一郎氏 ▲敎育 下田歌子女史 ▲結婚 鳩山春子女史 ▲育兒 瀨川昌耆博士 ▲衛生 吉岡彌生女史 ▲交際 山脇房子女史 ▲住宅 伊東忠太博士 ▲中流の納戸と裁縫部屋 羽仁もと子女史 ▲室内の裝飾 井上秀子女史 ▲庭園 長岡安平氏 ▲園藝 鈴木武太郎氏 ▲台所 入澤博士夫人、家庭料理 赤堀峯吉氏 ▲家庭經濟 嘉悅孝子女史 ▲衣服 堀越千代子女史 ▲洗濯 宮川壽美子女史 ▲下婢の使方 加藤博士夫人 ▲家庭の娛樂 巖谷小波氏

本社は現代斯道専門の諸先生が我國家庭の改良向上を圖らんが爲に住宅の建築構造より育兒、衛生、家事、經濟の事に至るまで、家庭に必要なる百般の事項を細大漏さず叮嚀親切に講述執筆せられたものであります。加之前記各題目の後には家庭便覽として家政上最も大切なる種々の心得を記載し、尚諸先生考案物の鮮明なる寫眞版を挿入してあります。主婦計りでなく家政研究中の女學生諸孃の、是非共一册を左右にせらるべき最新刊の良書でございます。

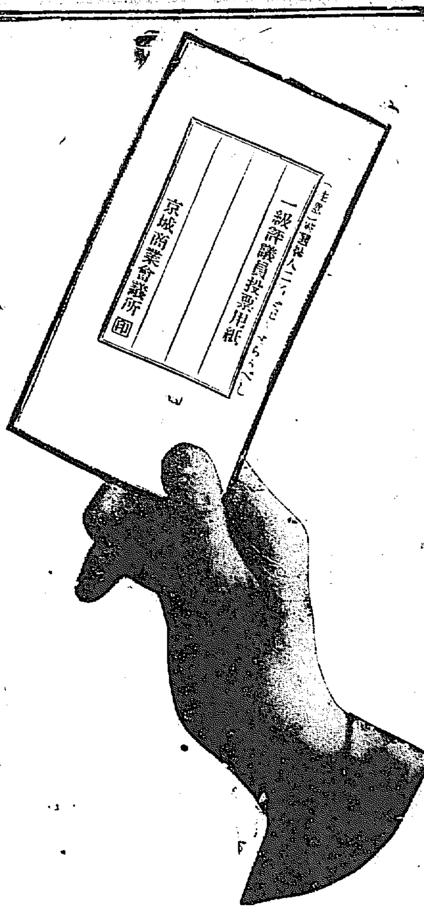
大取次所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

特價提供
メリヤスシャツ
○一號 金六十五錢
○二號 金九十錢
○三號 金一圓廿錢
以上各種
京城本町 龜屋商店 電話二七番四七五番

糖尿病根治藥 アラリヤタキスース
天信堂
十日一圓廿日貳圓 七十錢送料不要 大阪西區新町南通一丁目電話西二三七

モスリン値上廣告
無地大巾尺 貳拾錢
右は歐洲戰亂の爲め生地並に染料暴騰に付止不得自今右之通り値上致候
十二月十五日
京城吳服商組合

種々荷揃
歲暮賣出し
荒卷鮭 本場蜜柑
食料品 漬物類
京城旭町壹丁目
刀川西商店
電話長一三六七番 振替口座京城壹番



今宵一夜の胸騒ぎ

形勢の變測る可らず＝腑は固めて居ても

會議所議員候補者諸君は

お年にも似合はない花婿もどきの胸どき〱

泣いたつて騒いだつてもう廿二三時間で運命？が決すると迄差し迫つた十四日▲選擧場に充られた京城會議所は遉に何んとなう一種の緊張した氣分が漲つて居る 強ち氣の所爲許ではないらしい▲然し例年ならば選擧日前の會議所附近には何々君を推薦すと云た樣な帖札が物々しく張られるのであるが▲どうした具合か今年は其氣配だに見えず只だ押詰つた年末大賣出しの『商品二割引大賣出し』と云ふ立札のみが折柄の寒風に吹きさらされて居るのは淋しい▲それでも候補者側は選擧前日のことゝて安閑として温突計りにもぐり込んでも居られず西に東に馳せ廻て居る▲池田長兵衛君や關繁太郎君、林田金次郎君などの御老人連中も水涕を横撫でしながら『實につまらぬ話しぢや』など思はせ振り▲一級に突如として二三の候補者割込みたりと今朝刊に報道すると足下から鷄の立つた程吃驚してイエないゝ何んと』▲と一番面喰つたのが佐野彦藏君、進辰馬君、高木徳彌君等の只の一票で當選疑なしと澄し込んで御座つた連中▲敵は何處ぞ！なんて今頃騒ぎ出しても判官さんの腹切りおやないが遅かりし由良の助ぢやないかな▲二級の人の悪い連中一級の混戰狀態を見て態を見ろ▲なんかんと云つて居る其二級の御連中だつて夢々油斷は兵法の大禁物▲龍山方面には藤田君に地盤を譲つたと傳へられた執行君の態度が頗る？だと云つて彼方でもひそ〱此方でもひそ〱▲何時もながら仰々しい長谷川町の工友倶樂部では十三日の正午頃谷口小次郎、小谷清の兩候補者を擁立して參謀、指揮官、雜兵など十數人集り▲球を撞くやら碁を打つやらで『アーモシ〱江戸川ですか先刻注文した鯛井三十人前大急で願ますよ』と云つた樣な勢ひ▲丁度其處へ選擧通の堀尾潔君がヌーツと這入つて來てヤーと一聲妙な眼を光らかすハ、アー堀尾君は工友倶樂部の參謀長かな▲其堀尾君が選擧子を捕へて變なことを書くものだから皆狼狽出したよ▲併し一級も二級も意外に間際になつて飛入があつたら番狂はせを見るだらうテ▲誰れが何んと云つても學校組合議員なんか——なんかは一寸失敬——と職員の選擧だもの▲景氣つくのも活氣があるのも通常のまで間際になつて新候補者が飛出すと云ふのもやつぱり其れ程重く見られて居るのかもしれぬ▲寢て居て樂々當選と多寡を括て居た候補者も逍にか番狂はせに出られては▲今夜一夜は枕を高くしても就眠れい所謂百鬼夜行の悲劇やら喜劇やらを演ずることだらうテ

烈風中の消防非常警戒

消防手の一箇小隊編成＝果然十四日拂曉の猛火＝消防主任警部の防火上より見たる家屋の建て方

▲大和町官舍より出火す

十四日午前四時五十分頃京城大和町二丁目百二番地官舍李王職事務官村上龍信氏宅物置小舍より發火し常備義勇等の各消防隊出動防火に努めたる爲め居宅半燒にて同五時五十分鎭火す家財の大部分は搬出したるも損害見積額約一千圓原因目下取調中

▲各消防隊活動

右消防に努めたる警務部消防係主任小熊警部の防火狀況並に建築物に關する意見を聽くに『昨夜は烈風なので特に非常常備消防手を召集し一小隊を編成して本町四丁目の騎馬隊巡査詰所廳舍の一部に配置して平素警備の不充分を覺ゆる本町四丁目以東及び大和町附近の警備に當らしめた處果せる哉大和町三丁目李王職官舍に出動することゝなつたのである右特に召集した非番小隊が第一着で次で黄金町消防隊及び伊藤組頭の引率する義勇組並ひに他の常備隊も到着し火元に當る外周圍の軒先より焔を吐ける洋館の天井及び家根の一部を破壞し上下より注水したれば最初危しと見込みたる洋館も遂に消し止むることが出來たア、烈風なのに半燒で消止めることの出來たのは所謂天佑とでも稱すべきでせうか誠に消防の仕合せでありました又た毎度のことであるが家を建てるには防火上家切と云ふものは必ず省略しないやうに爲て貰ひたい家切は内部に隠れるものであるから無用の費を投する如く思ふて兎角省略したがるのであるが僕の今迄の

▲經驗に依ると 毎出火の延燒は殆んど此の家切を省略する爲と云つてもよい程である家切のない家は例令ば火力家の東隅から起つたとして中央部分に何等の異狀なきに火は早くも天井裏を通過して西隅軒先に其の焔を吐くのである今曉の李王職官舍も火元は木造で煉瓦建の洋館に接續せしめたのであるが木造部は煉瓦建この間の家切が不完全であつた爲折角不燃質にて構造したる煉瓦建も廊下並に表裏の家切のない部分から延燒したから消防隊は防火の爲遂に家根や天井を毀したので甚だ遺憾である又火災が起つたら逸早く消防所に通知が願ひたい今晩のも火元は

▲別棟の物置で あつて最初は家人も多少の消防をせられたらしいのであるから今少し消防隊が早く知つたならば洋館の天井や家根を破壞せずに濟みはせなかつたかと思ふあの官舍には電話もあつたのであるが惜いことをした消防の公衆電話は南大門消防所が四百五十番南山町消防所が十二番です其他各消防所には警備電話がありますから之に掛けてもよい公衆電話から警備電話に掛けるには先づ警備と呼び出せば警備の交換手が出ますから之に直接出火地を知らすれば直に消防所に通知することになります云々

獅子水牛を退治した猛者

虎狩はお手の物

虎狩を目的とし過日全羅南道地方深く入込みたる北京在住英人サー、リヤード、ミテン氏一行四名に就き其後の動靜を聞くに、同一行は六日松汀里より楊村里居住米國長老派教會醫師ウイルソン氏と共に光州警察署を訪ひ我小幡代理公使より貰ひたる紹介狀を示して地方官吏に紹介を求めて目的地に出發せりと一行の狩獵豫定は十五日間にして歸途は安奉線を經由の筈なるが三氏は倫敦の門閥家に生れ後卅五年間英領印度總督府に官吏を奉職し外交事務を執り其後支那鹽務事業監督に轉じたるものなるが嘗て阿非利加印度支那各地に於て屢々猛獸狩に成功し今日迄に虎二十頭を初め獅子水牛其他の猛獸多數を狩れる經驗を有せりと

寒風滿鮮の大野を横斷す

京城では近來珍らしい烈風

十三日から十四日にかけての寒風は京城としては實に珍らしい猛烈なものであつた、原因は十三日朝南滿洲營口附近に發生した低氣壓が漸次東方に進行し來り同日午後には滿鮮國境を横斷し午後十時には遠く日本海の北方に逃げ去つたので俄然その後を襲ふべく蒙古方面に發達した稀らしき大高氣壓が滿鮮各地に襲來したのである、氣壓は七百七十二粍、それが俄かに殺到したのであるから平素風には至つて不離なる京城の天地も十三日午後九時には一秒時間

約十一米突の西北暴風を生じそれから漸次に勢を加へて夜半に至つては十二米突五の風速を示したのである、併し十四日午前一時よりは漸次に其の勢を殺ぎ午後に至つて平穩に歸したのであるが温度は

割合に暖かで十三日夜間が零度以上の三分十四日午前六時が零下五度、例年の平均温度より總に一度低いのみである併し温度の割合にわれ〱の皮膚に寒く感じるのは寒風が強いのと空中の温度が非常に乾燥した所爲である、又全鮮最高氣温の土地は木浦の四度最低は國境中江鎭の零下十三度である

奸手段を弄する不埒の商人

押し詰まると妙なものが出來る

年末に押詰ると京城市内にては各商店共景品付きとか或は割引券とかの名目の下に種々の顧客を操りつけて居るが相當の店舗を構へ手續きを經て營業して居るものは別として一種卑劣な手段を弄し盛んに客を釣つてゐるものもある一例として南大門通り三丁目常木堂附近で頃日盛に競賣りをやつてゐた北野某の如き頗る怪しい方法で競賣をやつてゐたことを本町署の警官に看破せられ關係者數名共同署に引致せられて目下取調中であるが其常套手段としては所謂櫻を使ふことにて一味の手先を恰も顧客の如く裝はしめ其れだけの價格もなきものを競爭的に糶上げさせ罠に罹つたお客を誤魔化して賣りつけるのである此手に罹り品物を手にした顧客は後に發見しても詮方なく泣き寢入りに默つてゐる良家の婦人等も頗る多き模樣なるも事面倒と思ひ其儘に打過ぎてゐるやうであるが此際被害者は相當の手續きを以て本町署に屆出づるも一方法であらう

上棟式の最中棟木墜落す

飯尾支配人重傷

仁川海岸町不二興業會社出張所支配人飯尾芳太郎氏は過般來同會社の經營に係る精米所を花町埋立地に新築中なりし處此程大體組立を終了したるを以て十三日午後三時頃上棟式を行ひたるが式中付近した拵子か棒木が墜落し運惡く其の眞下に居合せたる飯尾氏は頭部に田中榮太郎君は足部に重傷を負へり兩氏共直ちに自宅に運ばれ目下治療中

恩典出獄囚人の汽車稼ぎ

京城南大門通五丁目客主業趙慶淳方に數日前年頃二十二三の擧動怪しい鮮人宿泊し金緣眼鏡を掛けて紳士風を裝ひ居るを本町署の刑事が引致して取調べると此奴は慶南釜山温州洞生の金文致（二二）とて同人は十一月二十五日恩赦減刑に浴して仁川分監を出獄したるものにて入京後遊興費其他に消費したるもの四十餘圓に達し尚現金九圓餘を所持し居れるを以て嚴重取調べたるも實を吐かざるが多分汽車の旅客より掏り取りたるものならん

兩班の詐欺

滿州東町居住崔寅源（四二）は大正三年陰五月滿州市場居住支那人孫進傳が滿州郡南二面芦北里砂金鑛々主金振鎔なるものに對し同人が採取する砂金全部買受くる契約にて採取資金を貸付け居るを嗅ぎ付けたれば爰に

▲惡計を繞らし 兩人の仲に入りて一儲けせんものと甘言もて孫進傳に寄り副ひ金振鎔に多額の出資をなしたるは非常に危險なることを告げ自ら其の衝に當り回收し與ふべしとのことに以前より親交あることとなれば二つ返辭にて託したるより同年六月振鎔を孫進傳方に呼び寄せ頻りに返金を迫りもし返金せざる時は借用證を作るべしとて遂に自己の名義として金一千圓の借用證を作らしめ旨々と手に入れたり愈々事は成立したりと大喜びの彼は同九月末滿州支廳に支拂命令の申請をなし金振鎔所有の滿州郡南二面同江西面同四州面所在の砂礫採取權に對し強制執行をなさんとしたるにより傳へ聞きたる金振鎔は大に驚き早速滿州に驅け出し市場居住の支那人彭延桂に相談の上記の

▲砂礫權を擔保 として同人より二千五百圓を借り出し抵當權を設定して崔の悪計の裏をかきたるに悪に長けたる崔は大いに怒り右の兩人を被告として債權詐害行爲取消申請並びに抵當權設定抹消申請の訴訟を提起したるが爾來本年七月迄裁判確定を見るに至らざりしが其間崔は法定訴訟費六十三圓餘諸雜費二百二十餘圓を要したるのみなるに孫進傳に對しては貸金請求をなすために要したる裁判費なりとて同人より數回に亘り約一千三百圓を詐取したるを手始めに或は金振鎔より進傳に返濟し來りたる金百圓又は進傳の歸國不在中ヲ附け込み雇人を騙かり進傳が經營に係る同順興商店の手形を盜用し一千百五十圓の借用證を作製し農工銀行より詐取せん準備中なりし事其他進傳より二十幾回に七百六十圓白米五石外に商品十八圓餘を借り出したる内今日迄返濟したるは僅かに二百三十圓のみにて

▲殘額は借用證を交付し居らざるを奇貨とし事實を否認する外同居人訴訟代理を業とする大保彦五郎と連帶にて孫進傳より金四十圓を借り卻き其後間もなく此の金は返濟すべければ證書を一見する必要ありとて其儘借用證を捲き上げ又京城にて旅費缺乏したる際孫進傳の名刺を利用して南大門支那人志與東方より十五圓を詐取したる等數々の惡事を犯し滿州檢事局に送られたり（滿州）

新築落成移轉
京城黄金町二丁目一八五
辯護士 岡田榮
電話三九八番

小兒電車に觸る

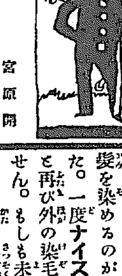
京城駉雲洞高乙龍（十二）は十二日午後一時四十分頃龍山より東大門に向ふ九十號電車が南大門通一丁目三番地先に差蒐りたる際線路を横切らんとしたる爲め電車は急に進行を停止せしも該電車に觸れ地上に打倒れ鼻頭に輕微の擦過傷を負ひたり

蓬萊町の出火

十三日午後十時二十五分頃京城蓬萊町一丁目飲食店金成鎭方温突の破損箇所より出火したるを家人消止む急報により常備消防隊出動したるも鎭火後なりし

▲新龍山

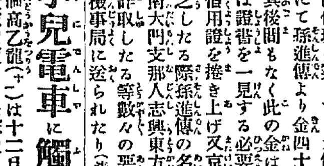
宮原開



新龍山は其名の如く舊龍山より新しい町であるが市況も何となく舊龍山より淋しい感がする。併し龍山の主要なる建物は我新龍山に建てられてあるので少しは心強い。先づ第一に先頃閑院宮殿下が御泊りになつた貴賓館は新龍山に在り然も我家より數丁隔つた所に南面して空を凌いで居るそれから

□軍司令部、師團司令部□

軍司令官々邸、兵營、兵器支廠、陸軍倉庫、衛戍病院、停車場、郵便局等主なるものは我新龍山に位してゐる。これ等の建物は國家主要の機關として賜るのみでなく、建築其ものは實に美術的に出來てゐるので市の美觀として誇る可きものだ。又來年からは獨立師團の所在地となるので新龍山もこれから追々その榮えを加ふること疑なしだ。既に將校官舍が建つたので以前より如何に活氣づいて來たかを見よ。



染めたと見えぬ髪の染方

從來の人の染めた髪を見ると、如何にも際立つて態とらしく、色澤が一般の人の髪と違つて、一見染めたと分ります。其上其變な黑い色が、首に附き枕に附き、觸る物何にでも附き、直に剝げて終ふといふ工合で、自然の美い髪の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在りませんでした けれ共其後染毛劑は追々進歩して以前のから見れば稍良いものが出始めましたがまだ〱自然の髪の樣に都合よく染らぬ。染め度い事は染め度いが染色が餘り不自然で甚然目立つので困ると言つて遠ふ有樣でした。

毛を染める必要のある人々が、斯うして尚非常な不自由を感ぜられて居た所へ、漸う完成發賣されたのが現今最も進歩した白髪赤毛染として各家庭に賞用されるナイスです。

成程專門の學者が長い間研究を積んで完成した丈けあつて、ナイスで染めると少しも態とらしい所が無く何うしても染めたとは見えず、丁度生れついて毛の美い人の髪のやうな色澤に染まつて、東髪でも日本髪でも非常に結榮えがし、又年とつた方にでも少しも不似合の事が無い自然的の色澤に染まり、其上染方は何の造作もなく、時間は僅か二十分で上り、保はよく、外へは絶對に附きませぬから、今では白髪染といへば何人も大阪丹平商會發賣のナイスで髪を染めるのが極のやうに成りました。一度ナイスを使つた方は、二度と再び外の染毛劑をお使ひになりません。もし未だナイスを使つた事のない方は早速試して御覧なさい眩度御滿足なさるに違ひありません。先般南洋スマラン大博覧會に於て名譽銀牌を受領し、今回又々衞生博覽會で金牌を受領の光榮を得ましたが幾多の染毛劑中でかゝる名譽を得ましたのはナイスのみであります、以て本品の如何に優秀なるかを知るに足ります。發賣は有名な健腦丸本舖大阪心齋橋の丹平商會、東京は日本橋給屋町丹平支店で定價は小瓶三十五錢男子用廿五錢、大瓶六十錢、各藥店化粧品店小間物店にあります。僅の違ひで嫌い染毛劑を買て御後悔遊ばすな。

小生儀年齢三十一歳に有之候も民籍には二十九歳と相成候に付今回京城府に申請し訂正致候間此段廣告候也
京城梨峴市場北門外
雜貨商 尾根謙

在鮮加越能人年賀交換會
會員名簿を印刷して元朝之を郵送す會費金拾錢（郵券代用は二錢切手）申込は住所、職業、本籍町村、氏名及屋號等の各欄詳記ありたし締切十二月廿日
申込所 京城授恩洞五九 乙村知來
同本町二丁目 石川縣物產紹介所

今曉近火の節は酷寒の折柄早々御見舞を辱し御厚志の段乍略儀以紙上御禮申上候
十二月十四日 末松熊彦

今曉出火の際は早速御見舞御盡力に預り感謝に不堪候混雜中尊名伺洩も可有之候間不取敢紙上を以て御禮申上候頓首
十二月十四日
京城大和町二丁目一一六 村上龍信
電話八九六番假寓

理想的 完全無比の 雨具
見本進呈
東京神田區東龍閑町九 島村友三郎商店

成功致富 株式相場講義錄

本社々長高柳氏は無一文より僅九ヶ年間に拾餘萬の富を作りし人也、世には株式相場にて何十萬何百萬の富を作る人あれど忽ちにして失敗する者多し、[illegible]

會則進呈。東京神田表神保町十 富強世界社

登錄商標
御旅行御用 至輕便 久耐無比 の鞄
御使用者間に頗好評
定價表進呈 郵券二錢送料

東京市芝區見伏町 鞄製造 内田 問屋
電話芝一五三一番 振替東京一八一七七

露國クロパトキン將軍原著 日本大學教授[illegible]
滿蒙處分論
定價金一圓 郵税本社負擔
京城日報代理部 振替府金京城三〇〇番

……貨主連は……二萬二千五石六十五叺・日出帆の……入港の定期船にて一萬餘叺の移出あ……十七叺の品別數量は大豆七萬五千四……

●慶北移出牛品價

南鮮牛の北鮮牛に比し秀逸優良なる事は近頃漸く是認されつゝある結果南鮮牛産地の中心たる慶北牛が頻繁として內地に移出さるゝは喜ぶ可き現象なり今永川、慶州、浦項、盈德地方畜產狀況を視察し歸廳せる常松慶北道畜產技師の談によれば永川、慶州、浦項、盈德地方より每市蔚山東萊方面に移出さるゝもの指を屈するに遑あらざるの現狀なるは是內地に於て近來慶北產牛が他に比し優良なるを認めし結果なり今最も特長ある品價を擧れば農耕として充分使用に堪ゆる事、步足の健全なる事、性質溫良にして何人にも使用し得らるる事等にて是慶北畜產界に於て誇るべき特長なりと

●豆滿江の結氷

去る五日霏々たる降雪ありし其夜より遽かに寒威は殺到し季節一變せり溫度は夜零下二十度內外、晝間は十二三度の間を示し河川擧げて氷結するに至りね豆滿江は慶源方面結氷したる由なるも會寧方面は未だ其期に至らず交通は依然渡船に據れるが斷々たる流氷渡船を銜き此半結氷期間は同江の交通安全ならず此向によれば豆滿江全流の氷結は來る二十日頃なるべし

●公州年末市況

錦江橋竣工以來經濟界其他一般事業に對し一新面目を施し金融界も緩慢となり商業狀態も非常なる活氣を呈し各商店大賣出しを開始し米穀の出入等も昨年に比し約二倍の出入特に年末に際したる爲か一般市況殷盛を極めつゝあり

●論山出穀狀況

湖南線論山驛は忠南米產地を控へたる關係上江景驛と共に出穀期に際しては鐵路同驛より各地に仕向らるゝ米穀の數量は例年巨額の數量に達しつゝあるが本年十一月中に於ける論山驛米穀發荷數量を聞くに總數量一千八百七十六噸內仕向先別を示せば釜山一千六百十噸仁川百五十九噸群山百零七噸なりしと(群山支局)

●間島雜穀輸出

本年間島の農況は天候の曲折を經て漸く平年作に達し農村の剩餘物少からざる由されば昨年農收の大頓挫を受けて以來輸出杜絕の觀ありたる間島粟の如き近來に至りて續々會寧方面に輸出し頻繁の光景を目擊する中にも間島大豆は鉅商の手に依りて大阪市場に輸出されんとし兆々出荷を見るに至り斯界活氣を帶び來り

●群山籾檢協議會

群山に於ける米穀檢査所の開始せられて以來頓に群山米の聲價を揚げ價格の向上せられたることは屢報せる如くなるが群山米の眞價を發揚せんが爲め進めて群山商業者は更に一步を籾檢査の施行を希望し米檢當事者の臨席を求め當業者十五名は十一日午後七時より府廳樓上に會合し種々協議する處ありたり

●九師交替兵來

第九師團交替兵將校八十名卒九百餘名十三日午後四時御用船加賀丸にて釜山着北濱陸軍用棧橋より上陸各旅館に分宿十四日午後二時發臨時列車にて各任地に向ふ

●平北熙川の食土

滋養にもならねば害にもならず

平安北道熙川郡東倉面石浦里直洞虎谷に於て去る十一月七日同地居住の金知漸なるもの白土の中に黑色を帶びたるものゝあるを發見し不思議に思ひながら之を採りて試食せるに無臭にして食するも何等異狀なきより是こそ世に云ふ食土なりとし噂は夫から夫へと傳はり附近の土民は勿論三四里の遠方より態々採取に來りて思ひ〳〵に一貫乃至二貫目を携へ歸り餅の中に混じて搗き或は蕎麥と混じて喰ひ是にて充分滿腹せしむるに足るより遂には赤貧者の如き多量に採集して之を日常の食料に供せんとするに至りたるに依り熙川憲兵分隊にては衛生上之を有害と認め一先づ採集を禁止すると同時に其の粘土を平安北道廳に送り慈惠醫院に於て分析したるに鹽基にありてはアルミニウム、ナトリウム、カルチウム、鐵、酸類に在りては硅酸、燐酸、岩酸、硝酸等より成り有機物を含有せずとのことなるが思ふに此種の物は南鮮方面にも多額を產出するが爲に始政五年共進會に於ても南鮮地方より多數出品あり之を口にするも齒間に土砂の如き粗雜の感なく粘滑にして無味無臭にして化學的成分としては敢て人體に害毒を與ふ可きものなく去りとて又有機物なる爲毫も滋養としての價値なきものなれば一定量の食用は單に器械的に胃を充たすの感を與ふるに過ぎざる可しと云ふ

●釜山府農作物

釜山府內大正四年度農作物作付反別及び收穫高は粳米二百二十五町二反步にて三千二百八十九石七斗九升糯米十二町步百四十八石四斗四升此の合計三千四百三十八石二斗三升にして前年に比し收穫一割減、豆類合計收穫六百九十五石にして大豆作付百三十二町步にして收穫六百六十石小豆四町步十四石綠豆二町步六石其他五町步十五石雜穀類にては粟一町五反十二石玉蜀黍二反步にて三石六斗なりしと

●道長官々舍新築　去る八月起工以來請負人は人夫を督勵し竣工を急ぎつゝありしが其間に種々の頓挫を醸し爲に未だ竣工を見ざりしが其後下請負人を排し元請負人直營となし引續き夜業を行ひ其の工を進めし結果本月一杯には竣工する見積なり

●慈惠醫院增築　滿州慈惠醫院にて新築すべき倉庫一棟及び繃帶交換所齒科室齒科技工室の工事は目下着々工事及び材料蒐集中なるが工費總額約三千圓落成期は明春三月上旬の由愈々落成の曉は設備も一層整頓すべく一般患者の幸此の上なかるべしと

●李全北長官の訓話　御大禮に參列の榮を得過般歸任せし李全北道長官は去る八日全州內鮮人數百名の學生を公會堂に集めて極めて嚴かに御大禮拜觀に關する一場の訓話を試み學生に深甚なる印象を刻ましめた

●歲末の贈答禁止　忠淸南道に於ては每年歲末中元に方りて物品の贈答禁止の旨道廳出入の商人を始め其他一般へ嚴重通達したる結果近來官民の間に於ては勿論官吏相互にありても全然物品の贈答は廢止となりしが恰も歲末に當り重て一般の注意を喚起せしむる爲め過般遞谷第一部長は加賀美公州實業組合長を招じ之が訓諭を爲したると同時に同組合員は組合員其他一般へ之が禁止方通知したり又た廳員に對しては別に長より訓示ありたり

●滿州の義士會　十四日夜は赤穗義士が本懷を遂げたる當夜なれば當年の忠膽義烈を偲び士道の發奮を促さんとて滿州各官廳有志は午後五時より謠曲倶樂部に義士會を開き餘興として滿州小學校訓導にて尺八の名手岡本照夫氏が吹奏せる幽雅なる二三の曲に聽衆を喜ばしめ各自義士の逸話等をなし生蕎麥の會食をなして散會したり

●公州かるた會　京城日報社公州支局の主催に係るかるた會は十二月十二日正午より本町常盤旅館に於て開催さるゝ由同好の闘士奮つて御參會を願ふ尙當日の會費は三十五錢賞品一等より十等まで呈すと

●公州競繪會　公州本町瀨川自轉車店主催にて去る十二日正午より[illegible]行はれたるが當日早朝出發午後四時迄に集合各自其の技倆を發揮せしが其內得點に於て[illegible]天野君は一等の得點と同點なりし結果抽籤に依り二等[illegible]守備隊田島君の當日不在なりしは誠に遺憾なりき一等守田(病院)二等天野(守備隊)三等服部(病院)四等服部(病院)五等谷(道廳)六等[illegible]八等[illegible](守備隊)九等[illegible]十等千葉(病院)なりと尙一月に入りて[illegible]大々的競爭大會を催す筈なり

●元山より

▲明太盛漁期近く　咸南沿岸に於ける明太漁業は漸く盛漁期も近きたる事とて各漁場は日每に活況を呈しつゝあり、今年は前年に比し漁獲成績頗る良好なるを以て盛漁期に至らば必ず豐漁を見るべく豫想し居れり又咸北沿岸の明太漁業は每年一月末頃開始され居れるが今年は珍しくも昨今夥々漁獲ある爲め當業者は不審を抱き居れり之れが爲め例年一旦引揚ぐべき漁網を其の儘に設置して明太漁を繼續し居れるが漁業は逐年時期早まり來れる模樣ありとさ

▲咸南奧地の測量　咸興惠山鎭間鐵道線路豫測隊は過般元山を經て京城に引揚げたるが咸興惠山鎭間の調査測量は著しき困苦と日數を費したり就中最も困難なる場所にありては一日の行程僅かに五丁にも達せざる始末にて測量隊の苦心一方ならず殊に十月に入りては氣溫の降下と降雪の爲め惠山鎭を發して甲山より厚峙嶺に出づる迄には隊員中六名凍傷に罹り一名は甲山病院に入院したるが他は無事にて歸來するを得たり

▲元山大豆の低落　元山大豆は出廻り開始以來相場漸高の有樣を持續し來りし所一時銀高の爲め出廻り頓挫を來たしたると共に相場漸次搖々しからざりし滿洲大豆が近時道路の全く氷結せると共に出荷漸次增加し加ふるに內地に於ける定期米の次第安に伴ひ元山大豆相場は數日前より低落を示しつゝあり

▲蠶業と栽桑獎勵　咸鏡南道に於ける蠶業は逐年發達を來し農家も斯業に從事するもの漸次增加し居れるが道廳にては栽桑を獎勵する爲め每年各郡に對し桑苗の無償配付を爲し來りしも到底多數の需要に充る能はざるを以て本春以來一般農家に自ら購入を獎勵したるに好成績を擧げ得たれば今後一兩年間自費購入を繼續せしめ之れが植栽を爲さしむる事に決せりと(十二月十二日)

●奇石治療愈々廿五日限り　皮膚病神經痛胃腸病等に殊に奇効を奏したる永樂町本願寺前なる奇石治療所酒井氏は別府の佐藤良藏氏の切なる招聘に應じ結氷期中別府溫泉に於て治療に從事する事に決し愈々廿五日退京に付き餘す所幾日もあらざるを以て特に治療時間を早朝より午後八時までに延長せり追て明春再び來鮮の豫定なる由

●連絡船上陸客　十三日午前釜山入港新羅丸一二等客　一等(二名)林文太郎、外人(一名)二等(二十八名)[illegible]……三等(百六十五名)　十三日午後釜山入港對馬丸一二等客　一等(一名)木下又次、二等(十三名)川崎龜太郎、[illegible]……三等(六十一名)

商況

東京株式特電

十三日	前場寄付	大引
日本郵船	一六五、九〇	一六五、七〇
日韓瓦斯	……	……
滿洲紡織	一三九、〇〇	一三九、〇〇
同新株	一〇七、〇〇	……
日本醱酒	……	……
東株第一	二四四、〇〇	二四四、〇〇
東株第二	二四五、〇〇	二五二、九〇
東新第一	二三一、四〇	……
東新第二	二三八、二〇	……

東京債券現物特電

十三日出來値段(前日との比較)		
東洋拓殖	六八、〇〇	……
日韓瓦斯		
朝鮮銀行	一五六、〇〇	……
朝鮮瓦斯		
南滿鐵道	一四一、五〇	……

東京公債直取引電

十三日出來値段(前日との比較)		
五分特別	九五、五〇	……
九分排證		
一回四分	八一、八〇	……
二回四分	八二、七〇	……
甲五分	九四、八〇	……

深川在米特電

十四日前場寄付		
朝鮮米	三四、四九三	
台灣米	六五、五三	
內地米	六四、九八	

東京期米特電

十四日前場	十二月限	後場
寄付	一五、〇二	……
高値	一五、一〇	……
安値	一四、九九	……
止め	一五、〇〇	……

大阪株式特電

十四日	前場	前日比
鐘紡	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
攝津紡績	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]
宇治川水電	[illegible]	[illegible]
主力株昂騰		

大阪三品特電

十四日前場		
十二月限	一二二、九〇	一二二、五〇
一月限	一二三、一〇	一二三、二〇
二月限	一二四、二〇	一二三、七〇
三月限	一二五、四〇	……
四月限	一二六、〇〇	一二五、九〇
五月限	一二七、〇〇	一二六、六〇

大阪期米特電

十四日前場(小圃)	寄付	止め
中限	一四、四〇	一四、七〇
先限	一五、〇七	……

下關期米特電

十四日前場	中限	先限
寄付	一四、四〇	一五、〇四
高値	一四、四〇	……
安値	一五、四〇	……
止め	……	……

朝鮮物產特電

釜山大豆	三、四〇	
浦項大豆	三、〇〇	
元山明太	三、一〇	
咸川明太	三、四〇	
城津大豆	一、九〇	
鎭南浦大豆	二、四〇	
群山大豆	二、〇〇	
仁川小豆	二、七〇	
宜川大豆	二、〇〇	
平壤大豆	二、四〇	
群山大豆	二、四〇	
木浦大豆		

雜報

●諸株一齊高　人氣々捷びの[illegible]休日明けの北濱市場は前場更に[illegible]

●諸株一齊に跳上　東新株の昂騰を演じ後場に至り一層氣勢を揚げて諸株一齊に跳上し此處に愈々春相場見越しの買煽りたるやの觀ありて今前場は館紡を初め船株米株共に主力株續いて昂騰し年末の一活を演ずべき形勢なり

●絹糸氣迷ひ　頃來の形勢再び不鮮明に陷りたり尤も一般人氣は依然先高見越の念强くして安材料の如きも殆んど刺戟少きに似たりと雖も而も今一段伸力の足らざる觀なきする所以は矢張供給關係を全然無視し難きと共に……

買進む勇氣乏しきに今一步高値に

料待ちといふ風情にあるが如し　依然氣迷ひ材

●硫安稀有の高値　硫酸安田肥料は肥料界の狀勢漸く恢復の兆あると共に人肥會社の買付け……百五六十圓……

晚近大暴騰を招く　市中相場は……

飛び十二三圓方突

●蒟蒻粉の下落　蒟蒻粉の昨今の商狀は……

●波瀾曲折多し　……

●蜜柑は不味　紀州蜜柑は……

下關相場

▲朝鮮米變らず　其後二百十叺の輸入に過ぎざるのみならず產地の如きは昨今一昂一低の成行きを傳へ居る折柄とて自然米主の安くは手放し難きる風情ゆへ昨今賣れ行き捗々しからぬにも拘はらず前段人氣狂はずこれが弗々の出來値は前報同樣なり　▲大小豆の現況　大豆は其後深川物二百十叺優船物百十叺等の輸入に過ぎざるのみならず產地も別に安からぬ爲各手持筋の賣り腰を弛めざるに依り更に市況狂はずこれが弗々の出來値は前報同樣なり▲小豆は依然弗々の賣れ行きに過ぎざるも現物產地との比較上不引合を唱へ各手持筋は氣張り居る爲め格別市況狂はずこれが成行きは前報同樣にて兩品とも目先此邊保合ならん乎

京城正米

白米移出注文弗々あるも期米の不勢と買物の可成ありとによる正米市場の人氣も引續き安氣配にて附口としては

一二十錢安　の見當なるが買人の昨來の應ぜざる爲め出來升難き模樣なり

南大門の廻米

沙里院糯	二〇三叺	天安玄米	五四叺
天安白米	一三〇叺	水原	四二叺
汝山	二〇四叺	金谷白米	二三叺
鳥山玄米	六九叺	一山白米	二三叺
湖川大豆	三五叺	金村	四七叺
湖川	九三叺	汶山白米	一六叺

仁川現物市場

天安	一〇三叺	金村白米	一七叺
群店白米	一三叺	沙里院白	九叺
鳥致院綠豆	九九叺	平壤	二七叺
鳥致院胡麻	三一叺	湖山小豆	二四叺
仁川白米	一八九叺	金村白米	一九叺
西井里白	二六叺	仁川大豆	二九叺
金村	一〇七叺	全谷雜穀	三五叺

△籾入津約千俵　氣配變らざる唱へ
△正米昨後場大阪期米高を受けて買望みたるより多少高人氣なるも午前中商談行はれず
△大豆入津約千叺　氣配は別段變らざる唱へ

顧客本位正確神速　仁川米豆取引所仲買人　ビサン仲買店　電話四三三番

生魚市場

昨今の漁獲は釜山統營方面を最多として三千浦鎭海鹽水等より弗々あり其內鯛は比較的少なし
一四、アマダイ一六、チヌダイ一二七、サワラ一六、スズキ一〇、ヒラメ一三、メジロ一四、ヤツ九、カレイ九、アナゴ七、モエビ一五、メバル八、ニベ九、サヨリ一三、タコ八、甲イカ一〇、ボラ一三、サゴシ一五、アワビ一五、ナマコ二六、小物六

仁川期米

十四日前場　寄十九　大阪前

▲十四日前場　昨日○七錢と四錢高の入電　昨日よりも當地中九圓七十六錢先十四圓六十六錢と三錢高に寄付た大阪二節は保合の折柄

○四錢三節十四圓九十八錢と安移り……

市場零聞

▲前場の商戰　[illegible]

▲前場動かず　大阪の上寄を受けて十圓六十六錢寄付たるも市場の人氣は引締りて依然閑散……

▲軟軍の賣控へ　……

硬派の見送　となり後場は居り……

高下を縮少　……

▲餅搗相場如何　……

組存の成るか　自然中限注視大取……

▲期米目先觀　……

殘玉五千石　……只時機の到來……

強弱の腰入

仁川米豆取引所

十四日の二月限

前場	中限	先限
寄	十圓六十六錢	[illegible]
高	十圓六十[illegible]	[illegible]
安	十圓六十一錢	[illegible]
引	十圓六十[illegible]	[illegible]

平均値段

一節	十圓六十五錢		
二節	十圓六十六錢		
三節	十圓六十五錢		
四節	十圓六十一錢		
五節	十圓六十一錢		
買	七千三百五十石		
賣			
取組			

十二月限　一萬三百五十石
一月限　一萬四千九百五十石
二月限　一萬二千五百十石

出來値比較(前日比較)

一〇〇	一六	高
一〇〇六	二	安
一〇三〇		
一〇五五	二	高
一〇八		

北濱だより

▲宇治電　宇治電の事業は……

▲堂島米穀新格付　大阪堂島米穀取引所にては大正五年三月限より新格附實施の必要上同所營業細則の一部を今回主務省の認可を得て左の如く變更せり……第六十八條第二號中『金四錢』とあるを『金六錢』に改む(大正五年三月限より施行)……

▲郵船株　……

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七三番　……

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七　……

有樂館　本町一丁目　電話二六六　……

御成座　御成町　電話二九一　……

壽座　本町　電話五七八　……

浪花館　明治町　電話二六〇番　……

壽館　壽町　電話一〇五〇　……

東洋一實用靴　防寒用御披露　弊店製造の靴及スリッパは從來の價格を破りて堅牢なるを特色とす
一金一圓卅錢以上金一圓六十錢　ラシャ靴防寒用
一金一圓卅錢以上金二圓八十錢　麻布靴運動用
一金一圓五十錢　スリッパ一式
右外地方御注文に依り代金引換にて迅速送荷可致候
京城黃金町三丁目　商標(K)　二葉屋　實用靴製造卸小賣所

三田土ゴム製造合名會社製造　發賣元　大阪本町[illegible]飯田商店　Mゴムマリ　賣行盛に倍々發展

新年用名刺及はがき　明治町二丁目(教會堂通)　最優良品を御需めの方は何卒M印の特に撰ばれて最優良品と御評判數ある中を御買上の光榮を得たる……長崎名刺店

模範純粹培養　牛乳ヨーグルト　大正搾乳醫獸主場　東亞牧場　京城蓬萊町四丁目(電話二五八番)

開店御披露　各位益々御淸榮奉賀候陳者今般御引立を蒙り候様左記の處に於て多年經驗ある一流の調理人を雇入れ今回京城旭町三丁目に十二月十二日開店仕候間何卒御賞味の上不相變御引立の程伏て願上候　京城旭町三丁目(一旦二十八番地)　大錦

瓢水味淋　登錄商標　京城本町二丁目　專賣店　前田酒店

田中金兵衛　一流の實業家……電話長一六二八番

越後大評定

第七十三席　早川貞水口演

越前家の國換

是より天海僧正、大久保彦左衛門の御兩所は、上使の役目が濟みましたから江戸表へ御歸りになり、右の容子を將軍家へ言上いたす、將軍家に□ばせ給ひ『天海師、彦左衛門、御苦勞に存ずる、休息あつて然るべく』と仰せられる、是で愈々越前家は福井城を引拂ふことに相成り、越後國頸城郡高田へ御國換へとなりました、是まで高田に居られました御兄弟の松平越後守忠昌公は、越前福井へ、御國換へ仰せ付けられた、後之を越前宰相と申上げる、そこで仙千代樣は御國換へ、松平越後守光長と申上げ、從三位中將と御任官になりました、之がため家臣一同この若君を守立て、御家も無事榮えましたることにて、愈御元服も相濟みました時に、毛利大膳大夫秀就公の御息女、久姫樣と申上げるのを、伊達政宗公より御縁談の儀を申勸めたるに依り此久姫樣を奥方になさいました、そこで小栗美濃守の倅大六が、小栗美作となり、美濃守を襲いで依然附家老、荻田主馬の倅も亦父の後を繼けて主馬となつて家老職となり、越後守に御附き申上げ、兩人は老臣の上席で御坐います、然るに此美作が漸次家政を執て『金時めく時に、一白樣の御息女、豊後府内にて御生れになつたお勸樣と申したるを下し置れる事になりました、一白樣にはお勸樣の他に二人の御子樣がありまして、長男を龜之助、次男を秀之助と申上ましたが、龜之助樣御成人の後、どうも御酒の上が惡い、亂暴をなさる如何に御意見申し上げても、御用ゐがない、終に武門の恥辱になるやうなことを引出させ給ひ、一同之を氣遣ひ、老臣打寄つて御相談の上、押籠め隱居と云ふことになりまして、二十代にて御逝去になりました、そこで秀之助樣御元服なさいまして長見大藏と申し上げる、此御方は至つて篤實、越後家へ對し誠忠の御方、本來なれば御腹違ひでも、當主光長公とは御兄弟であります、然れども爾う云ふことは、聊かも顏に現はさず、譜代の臣の如き御心持で、越後家を守護して御居でになる、所がお勸樣が頗る美人、それがため諸方から御縁談の儀を申込まれますが、孰れも長し短しで居ると、玆に越前家の御分家播州明石の城主從四位侍從松平但馬守直良樣が御子息□□守直明に嫁合はせんとの思召を以て、御縁談を申込んだ、所がお勸殿の方で『誠に有難いことで御坐るが、當今の身分で、明石家へ參ると云ふのは、怖れ多いことであるから、どうか此儀は御免を被る』と御斷りになつた、と云ふのは、一白樣の御子樣であるが今は臣下の列に居るからで御坐います、お勸殿の云ふ所、道理至極であると思召したから、越後守から御斷りになつた、但馬守直良樣甚だ失望落膽あそばしたが、是非ないことである、本人が望まぬ者を、強ひて申受くるも宜しくない、縁談ばかりは權威を以て決める譯に行かぬから、其まゝになりました。

年末の贈答品には　實用向きの　ちゞぬ銘仙　珍柄豊富
本店　京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番

十二月十六日九星　舊十一月十日辛巳　本命九紫南取友引

▲九紫 [illegible] 新事見 西方は吉 暗 銀南▲一白 割りまけのする事有り 新事手控 [illegible] 事は吉新 [illegible] は用心の事▲二黒 和合の日 轉居 旅行入門 名弘會談 求職棟上操 婚禮祝 [illegible] を斗る事▲三碧 上品の日 轉居行 商 求職 [illegible] 公件甲 [illegible] を斗る事 萬吉▲四綠 [illegible] 名弘求職 [illegible] 樣子よき日 轉居入學 [illegible] 女な定る等 [illegible] ▲五黄 [illegible] 旅行入門 [illegible] 婚禮 [illegible] 殊に惡事を斗ろに [illegible] ▲六白 [illegible] の日 新事手控 [illegible] 注意せらるべし▲七赤 [illegible] の事有日 新事手控 [illegible] 約束に用心せらるべし▲八白 [illegible] 轉居入學 [illegible] 求職 [illegible]

●田中博士の毛生劑　帝國大學醫科大學皮膚科教授醫學博士田中友治氏によりて創製せられたる毛生劑フキナインは [illegible] 脱毛の防止を斷絶して完成したる發毛な [illegible] する効果ある藥なりと [illegible] 東京芝愛宕町 [illegible] 病院より發賣したり

●大好評の贈答品　例年の事とは云ひながら早や歳暮贈答品、撰擇に苦心する時季となつたが何時ましい陳腐な砂糖や菓子でしあ、まいさいふ所から今年は高尚で優美なクラブ化粧品 [illegible] が一番歡迎されて居るクラブの [illegible] 箱には五十錢、一圓、一圓五十錢、二圓、三圓とい ろ／＼あるが何れも體裁の極めて上品な新式で貰つた方でも嬉しく贈る方でも氣持の良い [illegible] 贈答品であるから各 [illegible] 非常な歡迎で [illegible] 島屋、大丸、 [illegible] 町邊の小賣店では羽が [illegible]

とむり　書物や藥々術にあらず十二年間の苦心の有功確實なる [illegible] 直接皮膚を矯正美麗にす [illegible] ○大阪 [illegible] 堀下通三 [illegible]

自宅に居ながら [illegible] 精綺水 [illegible]

美人　裸體寫眞 [illegible] かぬ珍品内容 [illegible] ぬが花 [illegible] 五枚迄れ直送す　大阪市南區瓦屋町四番丁

何處のお風呂へ行つても、
石鹼と云ふ石鹼は、みな
ライオン化粧石鹼
ばかりで、
ライオン化粧石鹼の
高尙な匂が
濛濛と立ち罩めてゐます。

歲暮、クリスマスの
贈答品として、
最も恰好なり。
美裝三個入　五拾錢
美裝半打入　壹圓

本舗　小林富次郎

クリスマスや
お正月が來ます！
皆さまも妾も今から其お仕度に
東京で一番よく賣れる美人となる家庭化粧料
高貴御料
ホーカー液を
忘れず朝な夕なに使ひませう

ホーカー液の効
▼色を白くし、キメを細かにし
▼アレ性防ぎ、色艶をよくし
▼白粉下に、白粉とけ水によく
▼子供の肌を丈夫にし
▼雨の日や、白粉のはげぬ
▼寒さによく、水用を為し
▼ [illegible] ればれれば [illegible] しく
若くしい肌となる

透き通る樣な美しい皮膚と房々として漆の樣な黑い艶やかなお髮はホーカー液とホーカー美髮液の御常用に依つて得られます。
歲末年始御贈答用として、大、中、小瓶は美術化粧箱(御進物用)入にて最も [illegible] 到る處の小間物化粧品店にて賣行盛んなり

東京和泉橋
切通し　木太郎商店

大阪商船仁川出帆

(近海郵船を除く航路各線は [illegible] 連絡切符を發賣仕候)

○群山木浦釜山隔門神戸大阪行
温州丸　十二月十五日
須磨丸　十二月十九日　午後五時
漢城丸　十二月廿二日　出帆

×○木浦釜山長崎行(▲は [illegible] 寄港)
安東丸　十二月廿四日　午後二時
▲城津丸　十二月十八日　出帆

×○鎮南浦大連行
安東丸　十二月二十日　午後二時
城津丸　十二月廿八日　出帆

×◎鎮南浦龍岩浦安東縣行
龍州丸　十二月　日正午出

×◎門司大阪行
龍州丸　十二月　正午出

○群山釜山梅濱行
千珠丸　十二月二十日　午後四時
チヨイサン丸　十二月卅日　出帆

△大連直行
千珠丸　十二月十四日
チヨイサン丸　十二月廿三日　正午出帆

○淸津浦潮行(元山出帆)　▲は城津西湖津に [illegible] 寄港
地久丸　十二月十八日
神宮丸　十二月廿八日　午後三時
▲大智丸　十二月十六日　出帆

○上海基隆打狗行(大連出帆)
湖北丸　十二月廿九日
新商丸　十二月十七日　午前十時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及同連絡 [illegible] との連絡 [illegible]
○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船 [illegible]
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

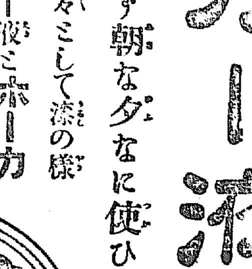
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二番　二〇番　五五〇
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番

中國四國沿岸各港行旅客に對し當分の間門司迄一割引門司より五割引を以て通路乘船切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆

○群山木浦釜山下關神戸大阪行
秀吉丸　十二月　日後四時出帆
君が代丸　十二月　日後四時出帆
土海丸　日後四時出帆
神代丸　十二月　日後四時出帆
大有丸　十二月　日後四時出帆
○第二太湖丸　群山大阪行　十二月　日後五時出帆

仁川海岸通三丁目　高杉回漕部



ぢの良藥
安川藥劑官創製の本劑は實貢の效能與さ效力の卓越せるは一般に信用あり論より証據試し見給へ
内用痔退丸は病源を摂滅除去して外用退痔劑は脱肛痔核を治す
定價内用廿錢五十錢一圓　外用同價
本舖　東京日本橋區上槇町　安川晃榮堂
全國藥店に取次あり

滿洲五龍背溫泉
安奉沿線五龍背驛を距る二丁
閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
風光絶佳にして一大樂園地なり
諸病に特効あり理想的療養場なり
宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

胃病良藥　太田胃散
○飲過ぎ食過ぎに妙なり
藥價十錢廿錢卅錢五十錢一圓
本舖　東京兩國矢ノ倉　太田信義商店
▲全國到る處の藥店に販賣す

日本郵船仁川出帆

○大連秦皇島行
相模丸　十二月廿七日　正午出帆
西京丸　十二月十八日　正午出帆
○大連、秦皇島行
三河丸　十二月　日　正午出帆

仁川海岸通三丁目　堀回漕部

朝鮮郵船

[illegible] 代理店 [illegible] 京城南大門 [illegible] 京城旅客取扱店　松原運送店

全羅丸　十二月十四日
京畿丸　十二月廿四日
黃海丸　十二月廿八日
成鏡丸　十二月十八日　釜山發
(門司より釜山各港寄港 [illegible])

穩城丸　十二月十九日
弓平丸　十二月　日
鏡城丸　十二月十五日　元山發
(元山より各港經由 [illegible])

平壤丸　十二月　日
忠清丸　十二月廿二日　元山發
(城津、淸津、 [illegible] 釜山經由門司)

永興丸　毎月廿八回　元山發
(北久味、 [illegible] 浦行　又は長崎延長)

嘉島丸　十二月十八日　釜山發
(甘浦、 [illegible] 浦項各港寄港鬱陵島行)

江陵丸　毎日　(釜山 浦項)發
載陽丸
(長生浦、 [illegible] 各港)

三浦丸　十二月十六日　釜山發
(巨文島、 [illegible] 濟州島各港行)

海州丸
統營丸
巨濟丸
慶寶丸　毎日　釜山發
(各港經由麗水(三日目一回木浦行))

順天丸　三日目毎　木浦發
(各港經由麗水行麗水より釜山行に [illegible])

慶興丸　十二月十六日　木浦發
(各港經由濟州島行 西歸)

公州丸　十二月　日　木浦發
(南乡島海州島行(月三回))

公州丸　十二月　日　木浦發
(各港經由濟州島行(東側))

宗信丸　十二月十七日　仁川發
(海州他各港經由、 [illegible] 行)

江原丸　十二月十六日　仁川發
(芝罘、大連、青島行)

麗水丸　十二月十六日
晋州丸　十二月廿一日　仁川發
(各港經由木浦行)

全州丸
南陽丸　毎日午前　仁川發
(江華島、 [illegible] 、海州行)

平安丸　十二月十九日　群山發
　　　　十二月六日　若松發
(往航 大黑山、木浦、門司、若松行　復航門司、木浦、群山行)

阿波共同汽船仁川出帆

共同丸　十二月十七日後二時入　十二月十九日前九時出
(大連行)
[illegible] 大連にて街形行定期船に接續 [illegible] 及び日本を [illegible] と同船運賃にて通し [illegible]

第一成鶴丸　十二月　日　後九時　出港
城津、淸津、浦鹽行(元山出帆)

第三共同丸　十二月二十日前八時　十二月　日　出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)

阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　本町一丁目(電話一〇八番)　山下回漕部
元山代理店　驛前町(電話二四四七番)　田口回漕部
京城取次店　南大門通(電話二〇六八、三〇一)　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
文神丸　十二月廿一日後五時出帆

○元山城津浦鹽行
立神丸　十二月　日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行
小倉丸　十二月十四日後五時出

○元山、淸津、浦鹽行
小倉丸　十二月廿三日後十時出

○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　十二月廿一日後九時出

○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　十二月十二日後六時出

○佐須奈、嚴原、蘆啟、博多行
天興丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆

釜山海岸通(立染町)　本船取扱店　大池回漕店

京城日報
十五日朝刊
（第二千九百七十三號）
發行所 京城日報社

朝鮮の先史民族

八木奘三郎

西洋の史家は太古邈たりと云ふ。支那の樂天家は葛天氏、無懷氏の世は無爲にして化せしと云ひ、又日本、希臘等には神代なりと云ひ、印度の古傳、ホーマーの詩篇等には太古に黃金時代ありて、後世の人類は皆な墮落せりと云へり。是等の思想は今日概ね雲散霧消せりと雖も、猶太古研鑽の篤志家は世上甚だ尠し。就中朝鮮の如き新領土に在りては人々實利に馳せて學事に志すもの曉天の星に似たり。然れども我大和民族は元來古器愛玩の思想に富み、且つ其品種は一方に偏倚せずして全般に渉れり。故に太古の民族に屬する遺跡遺物は邦人の足跡一度印すれば必ず多少の發見有り。去れば遼東と云はず臺灣と云はず、朝鮮、樺太等我領域に入れば先史民族の迹は何人かに依りて發見せらる、是れ甚だ喜ぶ可き現象にして、吾人其道に志すものは右に因りて諸種の便宜を得らる。今の番者、高麗燒以外に此種の遺蹟、遺物は入道全體に存在する狀況を知るに至れり然れども之を知るは吾人同好間の數者に過ぎざれば尙ほ世上に其人の增加せんことを望み、且つ此研究が意外に有益にして興味深きものたることを紹介せんと欲し、茲に其大要を述べて世人に示すことゝなせり

（一）先史民族とは何ぞや

歐州の考古學者は人類古今の歷史を三時期に別ち、其最古の時代を先史と云ひ、次の神話傳說時代を原史と云ひ、最後の記錄備はれる時代を有史と呼べり、斯區別は普通の歷史家が上古、中古、近世と別つ三段法に似たれども其內容は大差あり、又世の經濟學者が獵狩、牧畜、耕作の三時期に別つことゝも異るに依り、玆に其大意を云ふ可し。先史時代には石器時代、金屬時代の二大別有り、更に前者を舊石器時代、中石器時代、新石器時代の三小期に別ち、後者を青銅器時代、鐵器時代の二小期に別てり、是等は他の名稱を附するもの有り、又右を地質學的に別つもの有り、其他湖水住居時代なるものを設けて之を石銅兩時代に配し、更に塚墓時代を青銅器時代の後に掛るもの有り、其分類區々として一定せざれども石器時代の先史に屬することは何人も異議あること無く、殆んど學者間の通語となれるに依り、朝鮮の石器使用者は之を先史住民と稱すること尤も適當なる可し。世の人種學者は右を目して原人種若くは原住民と呼べども古器を基礎として其場合は前者却て可なる可く、就中原住民の種類、性質等未だ判明せざる際は先史民族の語を以てすること稍や穩當なるに似たり。但し石器使用の民族は今も世界の諸方面に居り、又過去に其迹あるも經過の順序は各國同じからざるものあり其他年代の長短にも不同あるに依り前述の時代別は萬邦凡てに當嵌らず又之を古しとのみ思ふ可からず、現に朝鮮の先史住民は日本の所謂コロボックルに比するに其年代甚だ若きが如し、猶是等の事は後に云ふ可し（未完）

新支那漫言

布施知足

十一

支那を外にして日米の關係は近時動もすれば圓滑を缺ぐ兩國民一部の感情は甚だ他に對して平ならざるものあるに似たり况んや其勢力の支那に於て相接するに至りてをやノックス卿が其有名なる滿洲鐵道中立の議を以て突如我邦の朝野を駭かして以來邦人は常に若干の疑念なくして米支の關係を見る事能はず乃ち最近の日支交涉に際しても一部國民が最も懸念せしは又米國なりしに似たり米國が國際上に占むる其巨然たる位地と又特にそが近時支那に對する關係とよりして吾等は邦人が米國に對する懸念の必らずしも謂れ無きものにあらざるを信ず然れども之あるが故に即ち日本は支那に關し事々に米國に對して不平を感ぜざるべからずと云ふは吾等は信ず之れ未だ必らずしも正論にあらず率直に謂はゞ吾等は支那の發展に對する米國近時の努力を尊重せざる能はざるを感ず固り米國の爲す所も悉く利害の打算以外に出づるにはあらざるべし吾等は必らずしも米支關係の根本を以て正義の觀念に出づとなす者にあらず唯其動機は何れにもあれ從來米國が支那に對して試みたる施設の大なるものの例へば團匪事件賠償費を免じて代ふるに留學生を送らしむるが如き三千萬圓を投ずる淮河浚渫事業の如き事業の日は其支那の開發に貢するもの幾ばく許ぞ若夫れ支那の最も要する所は即ち資金と技術とに在り而して此二者に於て支那が尤も先づ倚らんとする所の米國なるは必ずしも解し難からず况んや米國は又支那に於て殊に其資本活動の地を得べきに於てをや曩に日支の交涉が行難むや支那は屢英米を顧みて其援を請へり而も外援終に來らず乃ち支那の屈服に終りきと傳ふ干涉調停其他の形に於て外援が支那に來らざりしは眞なるに似たり然れども吾等は米國が交涉の終始を通じて一毫も動く所無かりきとは信ずる事能はず交涉の中頃に至りて米國が一度動かんとしたるは更にも云はず吾等は寧ろ交涉の終始を通じて有形無形なる米國の好意が絕えず支那の爲に働きて已まざりしを信ぜんと欲す五月頃には我政府も或は米國よりして何等か有形なる提議の來るべきを疑惧せしが如く當時の電報を見れば其形跡の歷々たるものあり強て解すれば日本は當時交涉に關し何等かの保證を米國に握らるゝの已むなきに至りしにあらざる歟吾等は米國政府が此間終始交涉に關して樂觀的態度を持し終局に對する確信ありたるが如きを見て何となく然感せざる能はず而も吾等は之に對して邦人が憤るの謂れなきを思ふものなり吾等は今の世に處して事の苟くも國際關係に亘るものには必らず米國を無視し得ざるを知る况んや近時米國が甚大の興味を感じ所謂利權の漸く深からんとする支那に於けるをや米國をして支那より手を斂めしむるは今に於て亦爲し得べからず如かず邦人をして其米國に對する從來の感情を拋ち進んで之と手を携ふるの工夫を講ぜしめんには吾等は米國と陝西石油の利權を爭ふて敗れたる我資本家の不平に同情す然れども之あるが故に邦人が支那に於ける米國を嫉視するを贊する能はず吾等は日本が支那に有する優越の地位と云ふを以て之を日本が支那を獨占するに足るものと解するを好まず否日本は支那を獨占すべきにあらざるなり既に獨占の念を棄つ吾等は米國との利害の必らずしも調和し難きものにあらざるを思はずはあらず吾等は邦人の努力が今後支那に於て米國との調和を圖り米國を引いて吾等の圏內に導からしむるに在るを信ず吾等は邦人が其の對支意見に於て先づ鎚を露國に採ると米國を敵視するとの二失を脫せん事を望むや切なり

放浪漫記

大谷光瑞

（承前）山路の三分一程の地に、石澗の花崗石に金剛般若波羅密多經を鐫し、字頗る大にして徑二尺に近く、全經剝落して纔に字の存するもの百有餘字に過ぎず。蓋し石澗に雨時水の奔注すると、乾時烈日の炎燬するにより、侵蝕を速かならしめ、大石片の剝落するもの少からず。其れ石に鐫るは不朽を冀ひ、永世に傳へんが爲なり。泰山大石頗る多し。何を苦んで石澗流水の中に剝するや。其の知識の窮乏を悲まざるべからず。山路の五分三を過ぐる所を中天門と云ふ。轎夫小憩す。此の地の轎夫は旁行し、轎を道路と直角に置く故に、轎上の人は道の前後に面せずして、左右に向ふ。初めて之に乘る時奇異の感あり。然れども登攀するに從ひ、其巧なるを嘆ぜざるべからず。若し通常の如く道路と並行せば、登時は足高く、下時は殆んど立つが如く、不快云ふべからず。加ふるに上部に重心を有するを以て、危險も亦從て多し。故に旁行せば平地を行くが如く毫も不快を感ぜず。無知の轎夫にして、能く此の發明をなさしむ。經驗の力の偉大なるに驚かざるべからず。中天門を過ぎてより、柏樹漸く減じ松樹之に代る。秦始皇の五大夫松の故趾あり。今猶五大夫松と云ふ。元より當時の物に非ざるは論を俟たず。然れども子孫繼承せるならんか。今樹は漸く二百年後の物なり。或は乾隆帝の勅問を恐れ補植せるに非ざるか。之れより山路愈々急なり。頂に近き四十五度の傾斜を爲せり。石磴の兩側に鐵鎖を垂る。然れども此鐵鎖を引くもの一人も無し。蓋し重量頗る大にして、腕力を要するを多し。寧ろ之を引かざるを可とす。畢竟險峻を誇張する好事者の擧のみ。果して上下に便ならしめんとせば、石磴を直立せしめず。縈紆せしむるに如かず。磴頭に南天門あり。南面するを以て名く。これを出づれば、頂上なり。多少の起伏あれども、急坂にあらず。最高嶺玉皇頂に至り宿す。殆んど黃昏に近し。山行休憩を除き五時間を要せり。時に西風頗る急、寒氣稍々嚴なり。火を燃やし暖を取る。夜來寒漸く加はり困夢數々醒む。拂曉、日東海より出で白雲脚下に湧き、頗る壯觀を極む。午前九時頃に至り雲霧洞開、四臨に便なり。山形東方に急傾せり。李太白は之を指し傾崖向東擢と云へり。異景なり。今は捨身崖と云ひ、墻を繞らし近かしめず。古より崖に立つ人、風の爲め崖下に墜落するによると云ふ。山上の別峰を日觀峰と云ふ。山頂の東方に在るを以て、初日の出づるを見るの義より名けしならん。この附近古より封禪の遺址なりと云ふ。山上に玉皇頂の外、碧霞元宮、孔子廟等あり。碧霞元宮最大なり。孔子廟の外は、皆道敎に屬し、道士の住する所たり。山頂の展望は雄大にして、泰山に登り天下を小とすの言空しからず。平野の中に屹立せるを以て、三百六十度の視界を有す。西北は群山萬馬の奔るが如く、濟南の平野に至りて盡き、黃河白練の如く西來し、山後に隱映す。南面は泰安府城脚下に在り。此の如き廣濶の展望は稀に見る所にして、急峻の諸山に非されば得べからず。印度のニリギリ山、アブ山、又此の展望を有せり。外ヒマラヤに屬せるダーヂリン、マレー等は、展望區域白八十度に過ぎざれども是に類せり。孰れも險峻の側面を有するによる。（十一月七日南京に於て）

朝鮮葉煙草政策私論（六）

廣江澤次郎

仲買會社を急設せよ（上）

葉煙草仲買機關設立の急務

昨年併吞人は此有利有望なる煙草界に一大禍機の伏在し居る事を憂ふるものなり。禍機とは何ぞや曰く、經濟學上の原則が示す處にして又自然が要求なしつゝ有る葉煙商人たる一大機關の缺如し居る事是なり。現狀の儘推移せんか、時に暗雲葉煙界を蔽ひ讒れる生產過剩說の海嘯襲來して攪亂する事無きにしも非ず。希臘の古諺に曰く『同じ石に二度躓くは恥辱なり』と。朝鮮も年々葉煙產額増加し、逐日有望の域に向ひつゝあるが、去りとて晩秋一度に之れが處分方を製造家に托さるゝも左なきだに製造と販賣に資金固定し經營仲々に手練を要する折も折、眼前に大晦日を控へ一層運轉資金の活用を要する時の事とて買は値段に不拘約束手形なれば格別現金にての引受は困難なり。恰度晩秋一年分の米を現金にて買入るゝと同じにて孰れは消費するには相違なきも、商人の最も禁物なる運轉資金の固定は苦痛なり。晩春より畑に金と勞力を入れしめし事とて年內に之を金に代へ美味き正月酒に舌皷を打ち、前年の勞苦を忘れ、更に新らしき年の計畫を立てたきが人情なり。窮急ぐは尤なり、否寧らざれば正月の越せざるもの大部分なり。製造家も此邊十分察し居る事とて進んで處分し度きも前記の始末、又假に二三月の候とするも晩秋迄八九箇月分の原料貯藏は不可能なり。而も葉煙は金融業者より商品と見做されずして擔保とはならず、又實際百匁五六錢より三十錢位迄差額ある葉煙を、專門眼を有し居らざる銀行家に相談するは、如何に朝鮮產業開發の爲めとは云へ、稍々無理なる注文なり。營業と情實、感情と理性の混同は銀行家の禁物と聞く。况んや南鮮方面にて惡記錄を作り居る今日に於てをや、又製造家の信用は製造と販賣の方面に極度迄使用し、是れ以上信用にて融通は困難なり。玆に於て買はんか現金の割愛を餘儀なくせられ、買はざらむか耕作者の窮狀見るに忍びず。是れ吾人が此間の調節機關として總督府製造家耕作者金融業者地主資本家等を主なる株主とし資本金百萬圓（四分の一拂込にて經營し得べし）の仲買會社設立の急務を絕叫するものなり。

日報歌壇

□我が影　國梨花

いと熱き涙なるかな木枯の吹くにまかする我が頰なれど
燃えさかる炭火の前に震へあるあゝ此の心何の爲ぞも
辻うらの紅提灯のうすれゆく闇より闇を降る俵かな
雪の夜のはりの戸のひと冷たかる心いつしか君に宿りぬ
いまははた見まじ願はじ裸木の森をさまよう少女と成らん
貰に光る密柑の山を見入る兒の素足悲しも親はあらずや
いさかひしあとの詑しさ默し合ふ暖爐の前の五人の心
霜月は昨日となりぬ何事もなし得ぬ悔を我とさげすむ
綿帽子かむれる如く冬ばらの雪間に紅くはぢらいて見ゆ
み瞳の底に冷たく我が影の取りましたる冬の夜半かな

京日詩壇

○始政五年共進會　成田魯石

新附山河濃熱誠。家門不入是生平。展來五載濟民積。復聽棠陰頌德聲。

評曰　不超奇巧華、實相備、

東京朝米取引所
▲十四日後場
▲依然保合
▲前場の前提乎
七千八百石

廣告

弊商會當地支店開設以來多年篤き御引立を蒙り候段難有奉深謝候然るに今般都合に依り當支店の營業一切を小杉謹八へ讓り渡し廣島本店へ引揚げ候事ゝ相成り候間何卒不相變御愛顧御引立の程伏而奉願上候　敬白

堀內商會　堀內茂夫

毎々格別の御愛顧を蒙り難有奉深謝候今般前記の通り從來堀內商會支店の營業に係る土木建築請負業並に材木販賣業及商號を拙者繼承の上引繼き一層確實に營業仕り候事と相成候間何卒堀內茂夫同樣御引立の程伏而奉願上候

堀內商會　小杉謹八

不肖儀堀內商會京城支店主任として當地在職中は不淺御引立を蒙り難有御禮申上候今般所理相濟み歸國仕り候事と相成候間不變御愛顧の程奉願上候此段辱知諸彥へ謹告仕り候

住所 廣島市幟町十七番地　村田薫

不肖儀今般小杉謹八經營の堀內商會主任として就職仕り候事と相成り候に付ては何卒舊倍の御引立を蒙り度奉願上候

和田佐一

疊表商　青山商店
備後尾道市西御所　本町一丁目

期節物廣告

○荒卷鮭○數之子棒鱈○鮭筋子○鰹節○味の素○諸罐詰○乾物類
右例年の通精良品充分取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候
○○鰹節味の素は化粧箱各種取揃居候
○○相場表は御一報次第御送付申上候

食料品問屋　辻本商店　京城南大門市場
電略（ツ）電話長七五番六四一番　京城振替貯金口座（三八番）

簿記募集　通學生　寄宿生　校外生
私立認可　日本簿記專修學校

紀州有田みかん荷著

今回紀州有田本場『金久』みかん販路擴張の爲京城に於ける販賣方を弊店に屬托相受け第一回六噸一車本日着荷相成候 古來同地產の『金久』は東京大阪等に於ては柑橘界の覇王を以て賞味せられ居り則ち實質に於ては世上曾て定評有るが如く他品に卓絕せる點は現品御試味の上益々御愛用あらん事奉希望候
追而箱印は一見して本品なる事を證せる『レッテル』一貼付有之候

海陸物產委託問屋　藤岡儀三郎商店

購買入札公告
一式　四拾七點
右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正四年十二月十五日　朝鮮總督府遞信局

謝近火御見舞
京城大和町三丁目　人見次郎

石炭　明治町一　村山商行　電話一〇五一

京日案內

●古本なら野村　京城本町一丁目（明治町筋）電話二六三六番　野村書店　153、112

●祝餅賃搗　搗餅は壽舘前の乃木餅屋に限る　○電話二七五二番

●番外

○龍山元町二丁目（電話一七番）161

鶴崎流　琵琶　○京城旭町二丁目六番地

●小便　但し滿十六より十八歳迄で普通敎育有る男子確實市內に一名以上有信用保證人要す希望者即時來談あれ○龍山漢江通拾參番地龍山長電一五二番△松本組　160

●看護婦及見習生入用　年齡十七以上希望者午後二時後本人來談但し市內確實保證人要す○京城本町一△電二七二九番△石川醫院　162

▲パン　品質の優越せると目方の豊富なるは　太平通二丁目　相川パン屋に限　電話は一一八九番へ御掛下さい　47

恩給　年金類低利長期立換短期　不及便法あり其他擔保貸付　○御京城南大門外　山口屋　98

恩給　年金抵利即時立替有價證券　御望みの方へは特に御相談に應ず　京城永樂町一百四十四　總督府商品陳列館前　江州屋　99

●はねうぎ（うちみ）等一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　127

●文房具店買受した　譲渡し希望者は左記へ　京城櫻井町一　電話九八五番　戶部賀店　138

移轉　市區改正の爲め左記へ移轉　京城支那領事館通　清韓洋行　電話四九四番　147

▲精肉賣出　●牛肉あり　本町三丁目　若草町入口　松居精肉店　156

●開店　うどんそば志る粉ぞうに　其外御好み特に勉強仕候　南米倉町市場　精米所上る　かもめ庵　157

●至急讓る　新發見有利事業　但し何人にも小資本にて出來る　（姓名在社）158

第三十七回帝國議會

衆議院(十四日)

▼豫算總會

衆議院豫算總會は十四日午前十時半開會劈頭

△頼母木桂吉氏(公友)は稅制の整理及び惡稅改廢に付質問次で

△山本悌二郎氏(政友)は在外正貨運用方法如何と質し

△武富藏相は本會議に於て答辯せる如く近く具體的に發表すべしと答へ尚ほ二三質問應答の後山本氏は農相に對し農商務省が來年度には何等新計畫なきを非難し製鐵所改良國産奬勵の効果に付き問ふ所ありたるに

△河野農相は新計畫なきに非ざるも財政之れを許さず殊に製鐵所の改良に付ては日夜憂慮しつゝありと答へ山本氏は枝光製鐵所擴張の意無きやと問ひたるに農相はその意無きに非ざるも財政の都合に依り延期せりと答へたるに山本氏は語を轉じ藏相に對し正貨流用の一として産業振興に要する費用を公債に由る意無きやと問ふ

△武富藏相は今日のところ確定せず時機を俟て公債に由るやも知れずと答ふ山本氏はさらば非募債主義を撤回する意なるやと問ひたるに藏相は當分募債せざる事を言明したるも主義として聲明したるに非ずと極め付けたるに山本氏は更に三十五議會に於て若槻藏相のなせる演說速記を朗讀し公債に依らずして産業の振興を圖る能はざるは何人も之れを認むるところたり藏相は既に先刻募集するやも知れずと言はれたるがさらば非募債主義を撤回せらるゝやと問ひたるに藏相は非募債主義を辭明したることなし從て撤回せずと答へ尚二三の質問應答あり零時四十分一先休憩す

▼佐々木氏懲罰

十四日午後六時秘密會を解き議長は秘密會にて佐々木安五郎君を懲罰するに決したりと報告し左の決議文を朗讀す

議院法第九十六條第一號により佐々木氏を譴責す

此の時福田又一氏より散會の動議出て滿場異議なく散會時に午後六時三十五分

▼彈劾案提出期

政友國民黨及び純無所屬に依り近々の中に提出さるべき內閣彈劾案は內政に關する諸問題を一括包含したるものにして十五日提出十六日上程の豫定なりしも豫算委員會に於ける質問進捗せざると大隈總理令兄死亡し同總理の歸省さに依り延期するの餘儀なきに至りたるが同總理は十八日歸京の豫定なるを以て十七日提出十八日上程すべく若し之れに間に合はざる時は二十日提出二十二日の本議會にて討論することに決定せり(東京特電)

◎五國協同宣言提出

支那に對する五國協同宣言は漸く總ての手續きを終了し十三日夜外務省より日置公使に訓電を發せり北京にて五國公使打合せの上直ちに支那政府に提出すべし(東京特電)

◎我公使館に人を派す

國體決定當日外交部は人を日本公使館に派し總開票の結果國體決定し袁總統法に依り後日就任するの已むを得ざるに至れるも即位には種々の手續を要し帝國の完全成立までには尚ほ時日あり今日既に帝政を實行せるものと誤解無き樣にと申立てたり(北京特電)

◎推戴辭退と段上將軍

段上將軍は十一日發布の皇帝推戴辭退申令を管下各地に掲示せしむると共に全國の推戴は誠意に出づ速かに帝位に登りて民意に從はれたし東三省の軍民兩政は豫め整備して中央の命を待つ若し憲法解決の要あらば國民會議員を電命次第直に上京せしめんと袁總統に打電せり(奉天特電)

歐洲大戰亂

▲軍事會議意見一致(全く)

巴里來電=軍事會議に於て全く意見一致し英國外相グレー氏及び佛國外相ブリアン氏は同文の訓令を雅典駐劄各國公使に下せり(倫敦電報)

▲希臘軍サロニカ撤退

雅典來電=希臘はサロニカに一個師團を殘し他を全部撤退せんとす詳細はサロニカに於て解決せらる可し(倫敦電報)

▲新任佛參謀長

ジョッフル元帥はカステルノー大將を參謀長に任命せり同大將が佛軍司令官たる事故の如し(倫敦電報)

◎鐵道敷設と借款

四平街鄭家屯間鐵道敷設は支那交通部との間に敷設費三百二十萬圓借款契約成立せしにつき愈々明春起工の事に決せり(大連特電)

◎鮮銀總裁發表

故市原朝鮮銀行總裁後任十四日左の如く發表されたり(東京特電)

正四位勳二等 勝田主計

株式會社朝鮮銀行總裁被仰付

◎中村都督等歸任

大典に參列せし中村都督及び靑木要塞司令官、獨立守備隊司令官藤井少將等は十三日哈爾賓丸にて歸任し國澤滿鐵副總裁及び川島要港部司令官は安奉線經由同歸任せり(大連特電)

雜報

◎佛國債と朝鮮

六千四十餘法の應募

佛國政府が目下募集中の五分利付國防公債は朝鮮に於ては朝鮮銀行が日佛銀行の委託を受けて取扱ひつゝあるが十四日までに於ける同行の應募受入れ高は額面總額六萬四千五百法にして應募者は在鮮佛國人並に英國人なりと

◎國境貿易杜絶

咸鏡南道新乫坡鎭憲兵所管內に屬する鴨綠江長津江は去月十三日より結氷し同月二十八日より渡船不可能となり爲めに上洞口憲兵派遣所と新乫坡鎭との交通及び對岸十三道溝との交通杜絶し對岸貿易は中止の姿となりたるを以て新乫坡鎭は經濟上の影響多大にして稅關事務の如きは茲數日間は中止の狀態なりと

◎最近の鑛産額

▲外國人七割強を占む ▲屆出と輸移出額の差因

▲採鑛者別 總督府最近の調査に依れば各産出鑛山の山元評價を基とせる鑛産價額八百四十萬二千六百四十九圓にして之を前年に比すれば二十萬一千餘圓を增加したり、此鑛産額中內地人、朝鮮人及び外國人別割合を見るに內地人二割弱、朝鮮人四分弱に對し外國人七割六分強を占め最も優勢なり、是れ外國人が夙に朝鮮の鑛山に着目し率先して其開發に努めたる結果に外ならず

▲輸移出額 鑛産物は朝鮮內に消費せらるゝこと稀にして其大部分は輸移出せらる、今稅關調査の重要鑛産物輸移出價額に依り大正三年と其前年とを對比するに大正三年は千百三十一萬三千七百四十四圓にして其前年に比し二萬三百十八圓を減じたり

▲鑛産屆額 農商工部への屆出額は輸移出額即ち稅關の調査に比し每年著しき減差あり、大正三年に於ても亦其差二百九十一萬餘圓を示せり、而して此差は全部金銀の鑛産に關するものなるが其主因は密採取及び屆出の不正確なるに朝鮮傳來の德大稼行者に依る操業鑛山に於ては德大より稼行料として徵收したる鑛産物の約四分一を其鑛山の産出額として屆出づるものある等に依るものと認めらる

議會覗き

東京支局 一記者

▲大隈首相が出席するまで野黨の弱目は滿を持して沈默を守ることになつたので十一日の豫算總會も四海波靜かで阿滿滿のアチラコチラに船を濟ぐ▲質問戰の先陣を承つたのは政府黨の本場産たる岡崎久次郎君、染料問題で河野農相を引張り出し樣式證據金が何うの斯うのと詰め寄せて見たがトント要領を得ない▲農相例に依つてエー、オーの間へチョイ〱本文を挿み『成る程ソレハ御說の如く……』なぞと相變らずの道筋で手答へがない迄は善かつたが▲プレミヤムの一語に至つて『其れはソノ……』と樂に行かず『アルミニユーム…ジウムの邊にゴマ〱して御座るので岡崎君は逐々自問自答になつて終ひ▲農相はお陰で學問をしましたといはん許りニコ〱もので例の白鬚を扱きながらノサリ〱と著席する▲次いで起つたも矢張り政府黨の高木正年君、例の一流裂帛の哀聲を張り揚げ、痛さうに武富藏相を揉み始めたが素より眠みも利かない鍼灸なぞと眼の見える樣なことをいつて按摩▲『最早十二時十分前ですから』當らず觸らずに切り上げたは人命救助▲午後には國民黨の西村丹治郎君少し逆上氣味で大きな聲を出す割合に要領を得ないこと夥しく▲石井外相に向つて再三再四日獨開戰の理由を追窮しても外相薩張り答へない許りか、片岡委員長までが外相の擁護の槍を入れたので▲當の西村君よりも後席の小久保喜七君が湯氣を立て西村君の一言一句每に合槌を打ち『ウンさうだ、さうだとも』『ヒヤ〱』『大臣何うですね』など、卓を叩いて尻押しをする▲西村君躍起となり『答辯がないから已むを得ず自問自答します』と叫んで哄と笑はせ▲更らに發展して歐洲經濟戰爭說に進み『神戸港の防波堤なぞは一寸手心をすれば立處に二三千萬は出て來る』と少々伸び過ぎたところを▲武富藏相發矢と受け止め『吾々の菲才では立處に二三千萬を捻り出すことは難しい、西村君の敎を乞うて……』で止めを刺す▲隣さず鈴木萬次郎君駄辯禁止に就て發言しようとすると西村君やぶれかぶれ『私の質問はこれで濟みました』と先を越して委員長散會を宜し鈴木君は立往生(十一日夜記)

◎鮮銀總裁

勝田氏に決定す

朝鮮銀行總裁の地位は市原盛宏氏逝去と共に空席の儘にて今日に至り其の後任候補者には種々の人が擬せられ或は井上辰九郎氏ならむと云ひ或は但一穗氏、或は柳生一義氏等の說區々にして容易に其の決定を見ざりしが愈々昨十四日別項東京特電の報ずる如く前大藏次官勝田主計氏に決定したり、勝田氏は愛媛縣の人にして明治二十八年法科大學を卒業し初め大藏省に入り屬となり爾來稅務監督官、函館稅關長兼函館稅務管理局長、稅關事務官兼大藏書記官、專任大藏書記官、臨時國債整理局書記官同局長、大藏省理財局長等に歷任し大正二年山本內閣の組織せらるゝや入りて大藏次官に任じ同三年四月官を辭し同月貴族院議員に勅任せられ現に其任に在り

鮮銀總裁被仰付たる 勝田主計氏

◎最近鐵道運輸

十二月上旬中に於ける朝鮮鐵道貨客運輸狀況左の如く總て前年同期に比し好況にあるは久しく歐洲戰爭及び一般不景氣に影響せられしものが次第に衡態に復し來れるを現はすものなり(△印減少)

	本年	前年同期比較増減
乘車人員	一四四、六七九人	一〇、八四四人
小荷物斤數	三八八、四二一斤	△二六、四七〇斤
貨物噸數	六七、五七七噸	一五、六一七噸
客車收入	一〇五、二〇五圓	六、六七八圓
貨物收入	一五七、八〇一圓	四六、〇〇二圓
運輸收入	二六三、〇〇六圓	五二、六八〇圓
一哩一日平均	二六四圓一三錢	四圓九七錢

尚右の外鐵道旅館、列車食堂並に喫茶店、倉庫の收入左の如し

	本年	前年同期比較増減
▲鐵道旅館收入(京城、釜山、新義州) 收入	一、五六八圓〇六	△七九七圓八七
▲食堂喫茶店收入 收入	九七四圓一一	△一八圓四九
▲倉庫狀況 入庫	二、九二四噸	一、六〇一噸
出庫	一、八二九噸	一、五六五噸
收入	一三六圓四五	

◎煙草消費額

稅令施行に關係なく追月增加の趨勢あり

煙草稅令施行以來即ち本年七月以降十月末日に至る四箇月間の煙草消費價額を前年同期と對比し其增減如何を見るに需用者が製造場よりの取引價額換言すれば純鮮內製造煙草の消費額は百四十六萬二千二百五圓にして之を前年同期間の七十三萬千百卅八圓に比し七十三萬一千六十七圓、即ち十割の激增を示し、需用者が藏置場よりの引取額(鮮內製造品並に輸移入品の一部を含めるもの)三十四萬四千七百六十七圓にして前年同期間の八十一萬五千六百四十九圓に比すれば四十七萬八百八十一圓、即ち五割七歩七厘の減退を來せり、又保稅地よりの取引額換言せば稅關を通過せる純輸移入煙草は六萬六千二百五十圓にして前年同期間の三萬九百五十一圓に比し三萬五千二百九十九圓、即ち十一割四分の激增にして消費額合計百八十七萬三千二百二十四圓を前年同期の百五十七萬七千七百三十九圓に比すれば二十九萬五千五百四圓、即ち一割八歩七厘を增加したり、尚ほ十月中の消費額は九月の其れに比し一割二歩七厘の增加にして結局鮮內に於ける煙草の消費額は稅令の施行に何等の關係なく却つて月々漸次增加しつゝあり

選擧人心得

京城商業會議所の評議員選擧は今十五日同會議所に於て左の方法に由り執行すべし

▲投票時間

一級 午前九時より午後一時迄

二級 午後二時半より四時迄

▲選擧人員

一級評議員{內地人 十二人 朝鮮人 三人}

二級評議員{內地人 十二人 朝鮮人 三人}

▲投票方法

一級 二人連記

二級 一人單記

◎平壤磁器復活

平壤磁器會社の製品は頗る優秀にして過般共進會に於ても金牌受領の榮を擔ひたる程なれば今後の經營宜しからむには相應の利益を擧ぐること決して難事にあらざる可きも同社は從來の成績極めて不良なりしのみならず資金の大部は機械器具等に固定せる爲め其運轉自由ならず斯くては折角の好産物も追時萎微の外なきより道當局に於ても同社今後の經營に付き頻りに腐心中なりしが內地人中にも本事業の前途有望なるを認め內地人にて確實なる之が經營の任に當る者あらば相當の放資を敢てせんとする向尠からずとの事なれば多分近く未拂込株の引受、若くは增資の方法を以て投資の運びに至る可しと觀測さる

◎江原道鰯豐漁

江原道江陵、杆城兩郡沿海にては十二月に入り鰯の漁獲を爲せるは近年稀なる豐漁にて明太漁業の餌に窮したる際に當りて鰯漁ありたるを以て此上なき仕合なりと歡喜し居れり因みに同郡地方は本年秋期の鰮不漁なりし爲め明太漁業の餌に窮し延て同魚の漁獲に頗る打擊を蒙りたりと杆城郡鰯一千百十俵價格四千二百五十七圓鯖一千六十尾價格四百二十圓江陵郡鰯三千二百五十尾價格一千三百圓を得たりと

人事消息

◎岡村技師未亡人出發 從四位勳三等故岡村初之助氏遺骨ははな子未亡人攜帶十五日午前八時四十二分龍山驛發急行にて郷里京都へ出發す

▲吉野實氏(滿鐵社員) 十四日入京朝鮮ホテルへ投宿

▲阪本金治氏(郵船會社員) 同上

東京發別電

▲帝政と我政府 支那に於て…益々加重しつゝあり

…が錦州は勿論遼西一帶は南滿洲外なりと稱して在留邦人の退去を迫り…んとせず北京に於ける交渉は果して如何に成行きつゝあるや當局者は…林宗嗣が遼西盤山縣下に於て土地を抵當に四千六百元を一支那人に貸與…に痛苦を與ふるに至りしものなる由…にて現に角遼西問題に關しては一括…鐵嶺萬達屋方面に於ける朝鮮人の水田にて收穫せる米を市場に持ち出さ…交渉し今日にては慣例を以て處分すべき性質のものなれ…豆其の他の穀物出廻は始まりしが四五日前より寒氣猛烈結氷したる爲め…

▲飛行家ナ氏の光榮 靑山…

高麗人三記念祝典大賣出し

高麗人參製劑

■高麗人三錠 ■高麗人三流動越幾斯 ■高麗人三越幾斯 ■高麗人三丸 ■高麗人三湯 ■浴用高麗人三飴 ■高麗人三糖 ■高麗參茶 ■高麗白參

■賣出中の特點 期間中人蔘越幾斯を御買求の方に對しては買額に相當する宮殿下御買上銀牌受領の人三糖並に特製人三錠を進呈します……

■賣出中は御客一般に人蔘湯の接待致します……

越幾斯價格

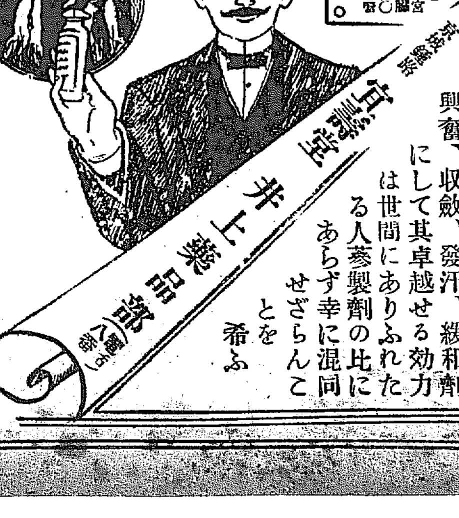
廿グラム	三圓八十錢
八グラム	一圓六十錢
四グラム	八十五錢

期間 自十五日 至二十五日 十日間 各一千點限り

高麗人三越幾斯が無代價で得られます

此際 高麗人三愛用者の各位の爲

東洋拓殖博覽會 明治記念拓殖博覽會 東京大正博覽會 朝鮮物産共進會 於て名譽なる金銀牌を受領したると創立三週年の祝典を兼ね萬病通治の靈藥と稱せらるゝ



■古來百藥の上に置き萬病通治の神仙藥と稱し不老草と云ひ尊重措かざるものは高麗人蔘を言ふものにして本舖製劑は高麗人蔘特有の貴重なる成分を萃め創製したる强壯興奮、收斂、發汗、緩和劑にして其卓越せる効力は世間にありふれたる人蔘製劑の比にあらず幸に混同せざらんことを希ふ

暮の本町通り――景氣のいゝ歳暮大賣出し

●熊の足跡、狼の糞
鐵道測量班卅日の難行苦行（其二）

朝鮮鐵道が延長一千哩の祝賀會を開いたのは今年十月の事であつたが尚現に咸鏡線清津會寧間、文川咸興間は頻りに工事中である更に朝鮮に於ける鐵道網は地方産物の狀況、地の理奈何に隨つて益々盛んに敷設せらるべく既に

■線路調査の濟んだ

もの許りでも平壤元山間、咸興城津間、芙江注文津間、孟中里滿浦鎭間、沙里院海州間、海州大邱間の各所に及んでゐる此鐵道網が實現せられる時朝鮮の産業は津々浦々山間僻地迄行き屆く譯であるが最近に於て踏査せられたる咸興惠山鎭間の如きは今迄踏査せられたものゝうち最も特殊の一である鐵道局技手板倉鋭丸氏は一行十五名の隊長となつて九月二日龍山を出發し三日午後咸興に著し道廳、警務部其他で諸般の準備打合を爲し

■咸興を出發したの

が五日であつた板倉技手は鐵道院時代から今日迄十數年間線路調査や實測にのみ從つて今日となり朝鮮でも右の諸線踏査は素より清津會寧間、元山咸興間の線路調査及び京釜線改良工事の實測等をやつてのけた其道の剛の者である或は華氏十四度の大寒に遇つて一行の三分の一以上の凍傷者を出し或は豚を馬鈴薯許りで三十日間の旅行を爲し或は熊の足跡があつたり狼の糞を見たりし乍ら遂に豫定の行動を終り去る十二日七十日間の行程を終つて龍山に引上げて來た記者に語つた板倉技手の談は殆ど普通の日本人などの行つた事もない

■太古の佛其儘なる

朝鮮北部の狀況の樣子を知る許りでも興味津々思はず膝を乘出させる程であつた板倉技手は語る——咸興惠山鎭間の線路調査は朝鮮十三道の鐵道豫定線路中最難路である現在線路中の難路と言へば素より京元線であるが今度の線は總て京元線より難事である又咸鏡線清津會寧間の茂山嶺を越ゆる爲めには七箇所の隧道を設け清津會寧間で都合十箇所許りの隧道となる咸興惠山鎭間には

■四十二箇所の隧道

が出來る筈である其長さにしても目下掘鑿中の茂山嶺第七隧道は六十一チエーンで將に朝鮮鐵道中の最長隧道たらんとしてゐるが今度調査の咸惠間雪隣嶺の隧道は四十二チエーンある是れには大に譯があるので茂山嶺隧道は勾配を八十分一にしたが今度のは四十分一なのである若し之を八十分一にしたらば其延長は茂山嶺隧道などより遙に長いものとなつたと思ふ、其れから高さから言つても現在では京元線の洗浦が

■朝鮮鐵道中最高地

點で海拔千八百尺であつたが雪隣嶺越えをするには海拔五千八百尺を線路が通らねばならない朝鮮西北海岸から東海岸にぬける線路即ち平壤から元山に出るには四十分一の勾配を避ける爲めに馬息嶺の嶮を逃れて高泉へ迂廻し辛く八十分一の勾配をとる事にしたが咸惠間には到底その樣に迂廻にした迚八十分一でやる處はないのだ即ち今度の線路調査は豫め陸軍陸地測量部の

■五萬分一の地圖で

充分に審議した結果鐵道敷設に於ける最極條件たる四十分一勾配、曲線半徑九チエーンを使用する事に決して出掛けた譯である咸興惠山鎭間百九十七哩五分の間を先づ咸興（海拔三十二尺）を發して普通勾配（八十分一）普通曲線で初里附近迄行き其處から四十分一の登攀になつて迂餘曲折盛に九チエーンの曲線を使用し大迂廻して赴戰嶺の嶮に差掛る。

●哈爾賓から朝鮮へ
狩獵に來る東洋鐵道重役の一行

先般は北京より支那政府總稅務司一行來鮮し新幕に狩獵を試み多數の獲物に北叟笑みつゝ引上げたるが今回は又北滿哈爾賓に駐在する東清鐵道地方部長コクシヤロフ、同衛生部長ヤーセンスキーの兩氏は遂に鮮が好獵場たる事を聞き及び來る十六日哈爾賓發の急行車に投じ來鮮新幕附近に狩り暮す由志くて朝鮮は東洋一の好獵場たらんとす

●死刑二人
濁酒中の毒藥

忠南唐津郡新平面上梧里姜姓女（三三）同里趙秉憲（四八）の兩名は殺人罪に依り十月二十九日公州地方法院に於て各死刑の判決となりたるを京城覆審法院に控訴申立てたるものなるが姜姓女は今より十八年前同里の金仁凡に嫁し同棲中大正三年舊五月頃よりの前記秉憲と姦通したることを本夫に採知せられたるより共謀の上殺害せんと姜姓女は昨年舊十二月四日夕刻秉憲の持ち來れる毒藥砒礵を濁酒に混入し居宅にて金仁凡に侑め仁凡は之を嚥み下したる爲め間もなく苦悶を始め瀕死の狀態となりたるより秉憲は同人を背負ひ出で遺棄せんとせしに未だ絶命し居らざるより紐を以て頸部を絞め以て殺害したる上其屍體を同面金川里と巨里との境界なる山中に遺棄したるものなり右につき十二月十三日京城覆審法院に於て控訴棄却せられ兩名共前判決通り死刑となりたり

●瓦斯爆發
京城本町の珍事

十四日午後一時三十分頃京城本町四丁目右田方にては瓦斯管工事中傍にて炭火ありしもの漏洩の瓦斯に引火し俄然爆發大音響を發したる騷ぎに急報に依り南山町常備消防隊出動したるが居合せたる工夫等は直ちに消火したる爲め事無きを得たり其際工夫崔義煥（三七）は顔面全部に瓦斯を吹かれ火傷せしも生命には別條なし

●大典式場一時拜觀中止乎

京都の御大典式場は來る廿九日より一月三日迄拜觀中止さるならんと（大阪特電）

●此暮は年賀郵便が多からう

年賀郵便の特別取扱は例年の如く十五日から二十九日まで市内の各郵便局所に於いて受附る、その手續は

▲一纏にした郵便 物に年賀郵便と書した紙札を附して郵便局に差出すかその數量の少ないものは封筒に收めて郵便柱函に投入する事も例年と異りはない郵便局では此際になり輻輳してくると限れる人の力で完全を期し難いのと一つは公衆の便利のためを圖つて特別扱をするのだが公衆は例年左樣な事には更に頓著せず締切間際にならなければ差出さない習慣がある、これを

▲統計表に就て 見るに昨年は五十二萬五千四通の内廿七日迄に二十二萬八千四百四十二通であつたのに對し二十八日二十九日兩日の取扱數には二十九萬千六百十二通で十五日から二十七日に至る十三日間よりも二日間の方が圖拔けて多いといふ奇現象を示してゐる、これがため郵便局でも面喰らつて終へば差出人の方でも遠い所へ年賀郵便本來の目的たる元日に配達が出來ない事となる、一時に全部出す必要はなく纏まつた丈何遍に出しても差間へないのだから何回にも出す樣にして成べく

▲一日も早く差出 せば双方共に都合がいゝわけだ、年賀郵便取扱ひの數は一昨年の六十萬二千一五十二通であつたのに對して昨年の五十二萬は諒闇中が影響した事は言ふまでもないが今年は御大典後とて頗る多いだらうといふ見込である又引受の方では三十一日までに到著した分は一昨年は百六萬三千百卅二通であつたが昨年は卅八萬五千三百七十八通に減じてゐる、矢張り諒闇が原因してゐる昨年は別として例年

▲發送より配達の 數ヽ非常に多いのは政治の中心であり高位高官その他會社銀行などの主腦が多いのに因るのであらうな

●爲替貯金取扱
時間を長くする

例年年末となれば一般の取引頻繁となるに從ひ郵便局その他の爲替貯金の取扱激增輻輳するを常とせるが京城郵便局にては來る二十一日より三十一日まで日曜日は午後三時迄取扱その他の日は午後四時迄取扱時間を延長して一般公衆の利便を圖り十分用務を辨せしむる事とせり

●神戸檢事局の大活動
軍需品の密賣か

十四日神戸檢事局活動を開始し或る人物を拘引したるが表面は阿片密輸入事件なりと稱したるも其の取調べつゝある人物より察すれば軍需品密賣にあらざるやとの說あり（大阪特電）

懸賞募集 新年文藝

課題 ▲和歌『寄國祝』▲短歌『新』▲俳句『門松』一人一句帳 ▲川柳『かるた』▲俗謠『松の内』▲『ものは』『荷け』『目出度ものは』▲一口噺 新年に因めるもの

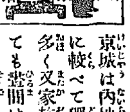
〆切 十二月二十日 用紙 端書又は同型の用紙 注意 各種別に別用紙に認むること、表面に『京城日報社編輯局内懸賞新年文藝係』と朱書のこと

●護謨會社燒く

十四日神戸ダンロップ護謨會社春日野道工場（三百坪）より出火機械製品全部燒失す損害額七萬圓負傷者を出せり原因取調べ中（大阪特電）

●仁川の年賀郵便

仁川郵便局にては例年の通り來る十五日より同二十九日迄年賀郵便の特別取扱を爲す筈なるが來年は御即位第一次の新年を迎ふることなれば年賀狀は例年よりも多かるべく從つて郵便局の取扱も亦困難故取扱開始と共に手廻しして早く差出されば一月一日迄に配達局に到著し得ざる事もあるべしと云ふ特別取扱を受けんとする年賀郵便物は麻系の如き丈夫なる絲を以て十字に掛けて括りこれに『年賀郵便』と記載したる紙札を附け當局又は郵便所の窓口に差出さるべし尚十五日より二十五日までの間に於ては電話（一番）にて當局へ通知あれば取集の爲め集配人を派遣する由但し其數量少きものは之を封筒に納め（年賀郵便）と表記し郵便函に投入するも差支へなき由



京城は内地の各地に較べて獨身者が多く又家族があつても晝間は一家擧つて外出する者が多い▲是等の者で留守居又は郵便受箱の設備のないため折角配達に行つた郵便物を勞ひ持戻ることゝなり自然遞送になる▲平素多く留守にする所では各戶共完全な受箱を使用する時は夜間又は留守の場合に都合がよく配達にも手數がかゝらなくていゝ▲但し其の設備が十分でないと配達夫が投函後に泥棒に襲はれる事があるが集配人受箱が危險と認めた場合には受取人の利益のため持ち戻る事もあるさうだ▲京城の看板には隨分奇拔なものがあるが聽て年も暮れようとする今日此頃市中の所々で共進會廣告の看板を見受けるのは隨分變なものだ

◉汲取のついでに 京城大島町居京城府衞生人夫李奈範（三三）は自己が職業の糞尿汲取りの爲め各戶に出入する機會あるを利用し十一月七日より十二月二日迄の間に大島町萱野たき方外二箇所に於て洋燈一箇外五點を窃取したる爲め十二月十三日京城地方法院に於て懲役六箇月の判決となりたり

◉斯道會雜誌擴張 教育勅語の普及を圖るため事務所を東京に置き雜誌斯道を發行せる斯道會にては朝鮮に擴張のため同會世話人寺尾次郎氏來京各方面に勸誘し居れり

◉高麗人參の大景品附 京城鍾路井上藥品部に於ては是迄内地博覽會及び共進會に於て名譽ある金銀牌受領及び創立三週年の記念として今十五日より二十五日迄同藥品部の高麗人參卸賣品を買求の方には其價格に相當する高麗人參一割及人參酒を贈呈する由なり又右商店の製劑は本場朝鮮産の精粹を萃め科學的に創製したるものなれば其効力の卓絶せるは世間一般の定評なり

◉仁川演藝納會 仁川歌舞伎座演藝會にては來る十九日午後一時より仁川仲町佛教青年會に於て本年の納會を催すべく一般の來臨を歡迎する由

金牌受領 本椿香油 髮を黑く長くつやを出しさらくとして髮の癖を防ぐ妙

新龍山三角地の むしぶろ どんな病にも能く効く必ず一度御試めしなさい

賣用卷ゲートル デア印 製造販賣 大阪東區南久太郎町四丁目 （見本帖呈す） 杉山商店 振替大阪一七四一七

▲美味なる 虫下し 最良藥▼ 定價五錢●十錢●廿錢●五十錢

岩崎大海堂セメンノ菓子 美味なる虫下し最良藥 さんとにねくわー 本舗 大阪 岩崎大海堂 ▲内外藥店にあり

主治効能 蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、疝熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫 近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ ▲廿錢のは卅二錢分入りで函入で最もよく常用と進物に妙です

新刊書御案内

書名	著者	正價
戰時經濟講話	上田貞次郎	八五
國民經濟學原論	山田伊三郎	一六〇
軍國主義	蜷川新	一〇〇
岡田式靜座三年	岸本能武太	一〇〇
心の修養	大内青巒	一〇〇
田園訓	高正秀雄	五〇
貯金の秘訣	安田樸一	五〇
安價生活法	額田豐	八五
債權者の權利損害豫防策	難波誠四郎	九〇
朝鮮鐵道旅行案内		七〇
カイゼル著 朕が作戰	樋口麗陽譯	八五
明治大正二萬三千句	高橋曉紅	八〇
聖パウロ	齊男譯	五〇
冷笑	永井荷風	六五
自由社會の男女關係	堺利彥譯	三五
社會的近代文學	馬場孤蝶	三五
文學の本質	松浦一	一二〇
うきよ	柳川春葉	一二〇
金剛草	夏目漱石	一二〇
さくら子	渡邊霞亭	五〇
西洋畫史一卷	瀬川秀雄	一二〇
朝鮮名勝詩選	成島盟村	一三〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城一二五七三

國産 煙草代用 森永ミルクキヤラメル 此の暮の諸君の目覺しき活動に身體と頭腦の疲勞を醫するに尤も有効なる森永ミルクキヤラメルを常に煙草代用として愛用せられよ ポケツト 大金十錢 小金五錢 ニセモノに御意注の上 商標 此の商標ある森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ 東京 大阪 森永製菓株式會社

カフエータイガー歳末の大提供!! ロース、かしわ、かも すきやき 御一人金五十錢にて如何程にても召上次第（御飯、野菜、玉子付）西洋料理は一皿金十五錢均一 右本日より本年中破格の大提供好機逸し給ふな 京城南大門通三丁目 カフエータイガー 電話二五七一番

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番 入院隨意 普通病室並隔離病室 院長 醫學博士 古城憲治 尿、便、血液、喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

歳暮大賣出し 食糧品一式 弊店本年の御贈答品は時勢に鑑み廉價にして且輕便なる好適品數種を取寄容器下ては最新なる優美品を取揃へ申候間多少に不拘御用命被下度奉願上候 内外各國食糧品商 京城本町三丁目 森川商店 電話一九三〇五番・七番

●鮮人毆打事件 …遼西問題は去月當時の錦縣知事朱某は今日尚ほ妄解を固執し敢て彼等支那官憲に收容治療を施されつゝあり本件は目下交渉中にて林は目下營口醫院…二十九日知縣に迫りしに無法にも…全身…毫したる第二次警告も何等の効果を豫想する所なく從つて現内閣の責任

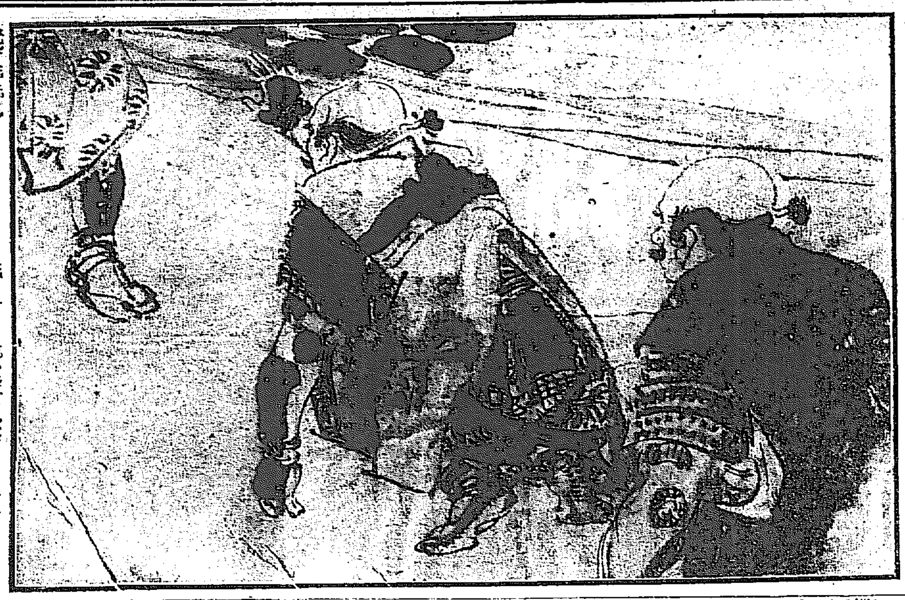
●順鮮人課稅事件 …は直に我が警務支署に保護を訴へ出でたるより植村署長は直に知縣及び…本年は多期に入りて結氷せざりし爲…りあるに至り特産物商活氣を帶び來れり（長春）

千生瓢 (70)

須藤南翠作　筒井年峰畫

驕將（十）

此一言で兩將の心は守戰に傾いた持場〳〵の手配を定めて、猶も軍議を凝らしてゐたが、孝高の猛將後藤又兵衛基次、末席より進み出で、『御歴々御評議の御席へ、某風情の連ること、既に無禮と存じまするに、若年不才の身を以て、差出がましく愚見を述べまするは、甚だ恐れある次第おざります、御許し下されませうや』と申し立てた。



羽田長門守は一も二もなく、之を許して、『意見あらば遠慮致さず、申し述べられい』と促がした。

基次は一揖して席に進み、『不束ながら某佐久間殿御陣に推參仕り、越前勢を賺し申さうと存ずる一計のおざりまする。枉て御名字を差許され、御使者に罷り向ふ儀を、御許し下し置かれませ』

『時に取つての妙計と存ずる。如何なる方便を以て賺さうと存ずるか、一應承はらう』

桑山修理亮が折返して尋ねると、基次は鋭く頭を擡つて、其儀は、機に臨み變に應じて、辭を設けまする故、只今是れにて申し上げる事は能きませぬ。但し佐久間殿は猛勇無双の荒大將と承はりまするが、生死孰れを取らるゝやと申せば、喜んで死を取らうとは申されますまい。勝敗孰れを好ませらるゝやと申せば、敗を忌み、勝を好まるゝは必定おざりまする。されば、生を取り勝を制する方法は、かやう〳〵と申しませうならば、恐らく某が申す旨に遵はれるでおざりませう縱令基次が申す旨に付かせられぬとも、其問答の間には、半日一日は過ぎ申しまする。其內には筑前守殿も御發向相成る事と存じまする』と臆する色なく申し述べた。

『如何にも其方が辯舌にては、玄蕃允も賺かされ申さう。速かに敵陣へ罷り向へ』と長門守は命じた。

修理亮は姑らくと止めて『其方の計略極めて可からう。何れにもせよ、成るべく時刻を移すやう十分に拵へ申せ』と補つた。

斯く兩大將も許しを與へたので、基次は單騎敵陣に至つて、首尾よく盛政にも面會を遂げ、彼が如き奇策を施したのであつた。

盛政は固より計略と知らうやうはない。空砲と虛聞との戲戰を笑ひながら、賤ヶ嶽開城の時刻を待つて居る處へ、堂木山の大金藤八變心して欵を盛政に通じて來た。同時にまた江北の村々からも、御旗一旒明はらば、御味方に參つて、軍忠を勵み申さうと申し込んだ。されば、江北を切り從へて、勝家の武威を輝すのも今一兩日の內であると、心中大に滿足してゐたのであつた。

此時中尾山の本陣より使者が來て早々人數を打ち入れよ。深入りは大敗の基だ。秀吉を並々の武將と思へば、大な誤りである。今四時か五時すれば、彼の大軍はこゝに來る。然らば汝は敗北する。今の間に是非引上げよと言つて來たので、盛政は烈火の如くに憤つた。

『伯父公は老耄したと見える、戰の機は分厘の間にあるものぢや、筑前守十三里を四時五時に來れば來い、人馬の勞れて用をせぬ處へ、押寄て一戰ぢや、伯父公如何に筑前守を怖れらるゝとも、討つた首を御覽せらるれば、如何なる顏をせらるゝか、明日に盛政實檢に供へ申すと、罷り歸つて申すがよいわ』

『いや、殿、匠作は流石老功、此處を引き上げて、別に新來の筑前守に備へらるれば、筑前守とても、容易に手出しは成り申すまい。此所は是非匠作の仰せに從はせられ』

安井拜鄕が辭を盡して諫めるのを盛政は耳にもかけず。

『賤ヶ嶽の開城は、今宵初夜に迫つてゐる。堂木山の大金は、はや味方に加はつた。江北の村々でも、一味して軍忠を抽でようと申す。匠作の運の開けるのは、今目前に迫つてゐる。退きたくば汝等退け。但し此玄蕃が首打つて引上げい！』と、居丈高になつて喝破した。

新刊紹介

▲貯金の秘訣（安田操一著）小さな事から出發して大きな事に及ぼして行くのが貯金の第一の要點で夫れを職て富者になる秘訣であり本書は夫れを具體的に叮嚀に說明したものだ金持になり度くなくとも安固な生活をしたい人は讀むべし（定價金五十錢東京市牛込區神樂町一丁目東亞堂）

▲快男兒（十二月號）定價金七錢東京市神田區錦町三の九國民實科大學院

▲大陸（二九）定價金廿錢大連監部通り三八其社

▲日本警察新聞（三五一）定價金五錢東京市芝區愛宕町二の一四其社

▲現代之科學（十二月號）東京府下豐多摩郡澁谷町下澁谷二一五其社

▲富之研究（棒尾參展號）定價金拾錢東京市神田區旅籠町三の一其社

▲育兒通信（十二月號）定價金拾錢東京市林町六四其社

▲抵抗養生（十二月號）定價金拾錢東京市麴町區永田町二の六五仙學會

▲御婚禮御仕度案內　非賣品東京市神田區今川橋松屋吳服店

▲園藝之友（十二月號）東京本鄕區駒町七番地日本園藝研究會發行

▲海友（六八）定價金卅錢大連市寺町通り三丁目大連海務協會

▲日本青年（十二月號）定價金七錢東京府豐多摩郡大久保町東大久保四三八帝國青年協會

▲臺灣教育（一六三號）臺灣總督府民政部學務部內同會

▲新文界（十二月號）京城府閑昌洞一九六新文社　部十五錢郵税一錢

▲病蟲害雜誌（第十二號）東京市小石川區原町十二番地日本植物愛護會一冊十五錢

正月の儀式作法と其料理を心得ぬは主婦の耻なり

△坐ながら稽古の出來る便法

古より正月を睦月と云ふは年の始めに朋友親類互に往來饗應して睦み親しむの意あり人情に古今の相違なく現代にても新年には假令千里の山河を隔て幾歲の久しき間顏を見ざる友にても互に年賀狀を交換して舊交を溫むるは我國獨特の美しき習はしなり然れば近き所に在る親戚朋友は平常俗務に追はれ打寬ろぎて盃を交はすの折なくとも正月ばかりは心長閑かに互に招き招かれて各々心づくしの馳走をなし年寄子供に至るまで歡を極む

斯く來客多き正月に若しも其家の主婦たる者が料理の心得なく訪客の都度料理を仕出し屋より取寄する樣にては家政上不經濟甚だし殊に正月は平常の料理と異り總て儀式を尙ばるゝものなれば正月儀式作法と其料理より雜煮の拵へ方に至るまで正月料理の一切は是非共其方式に依らざるべからず是等のことは無論主婦の手に依り家庭にて調理さるべきものなれば主婦に此心得なき時は主婦其者の人格を失墜すると同時に主人の耻辱となり延いては家庭の體面を毀損するに至るものなり

大儒新井白石先生は其著書の中に千古の訓戒を示せり、曰く人の家を訪問して饗應に預りたる時其家の主婦の手料理を味はへば家庭の裏面を窺ふに足る而して主婦の料理の巧拙は延いて主人の爲人を知るべし」と云はれたり

斯くも料理の稽古は婦人第一の急務なるにも拘らず現今の婦人は是れを無視して庖厨の事は下女の勤なりと誤解し徒らに虛榮にあこがれ紅粉を裝ふのみに耽りつゝあるは誠に痛嘆に堪へざる處なり板垣伯爵夫人には夙に之れを憂ひて自ら東京割烹講習會を設立せられ十年一日の如く盡瘁され今や日一日と入會者を增し頗る盛況を極めつゝあり同會は

▲便利な通信教授法に依り假名さへ讀める人には直ぐ判り稽古の至難なる料理法を至速實地の用に立つ樣教授する無比の特色ありて創立以來既に全國を通じて男女十有餘萬人の卒業生を出だし其の中には料理にて相當の給料に就職せる人もある位なれば更に同會にては通信教授を一層實用的ならしむる目的の爲めに

▲附屬帝國女子割烹學校を起し日本料理より西洋料理菓子の製法、漬物のつけ方まで東京屈指の各專門大家を聘して日々現物を用ひて多數の生徒に實地傳習せしめ其敎材を一層周到懇切に講習錄となし全國の會員に頒つ、故に其通信敎授は一々實地に適合し良師に手を取て敎へらるゝよりも明瞭にしてよく會得され朝晚自分の家庭にて實習がたく何時か一人前の料理通となる便法なるが

▲正月料理より新學期開始　正月號は十二月一日發行に付き目下全國に男女會員募集中なり會費は一箇月僅に金三十五錢三箇月一圓半箇年一圓九十五錢一箇年三圓六十錢にして半年修業一年卒業なり而して每月送らるゝ優美にして實益豐富なる講義錄は料理の外には婦人として家庭日用の種々の便利なることまで親切に示しあれば後には一部の立派なる藏書となり一生の智惠囊となる調法のものあり

▲入會は極めて簡便にしてハガキに講義錄送れと書き本紙愛讀者とし東京本鄕區元町一丁目三東京割烹講習會（振替口座東京一九四一〇番電話下谷五六九二番）へ宛申込めば直に會員として送本を始め會費は後で其の地の郵便局より集金に行く故送金手數もなし又希望者には申込次第

▲規則書附講義錄內容見本を無代にて郵送しつゝあれば遠慮なく申込るべし

▲新學期四大特典　目下新學期に際して一入會金免除、二料理必携無代進呈、三六箇月前納者に家庭寶典進呈、四一箇年前納者に婦女通鑑進呈等あれば讀者は今回の好機を逸せず滿員とならぬ中に入會さるゝ樣切に獎勵するものなり

高僧に代り肺患者救助

正八位勳六等藤井崇道氏は今は大阪の古剎光泉寺の現住として四千有餘の檀徒に歸依せらるゝ高僧なるが往年怖るべき肺結核に惱みあらゆる服藥も効なく空しく須磨の療舍に死を待つの時病床を見舞はれし老僧が偶々携へし書物の間違が原因にて下山博士石井學士が研究になれる奇効藥を得て危き一命を取止められし以來同情すべき多數患者の救濟を發願し其實行を努められしは既に各新聞の揭載する所なるが爾來患者の救を乞ふ者の聚しく自然寺務と布敎に支障さへ來すのみならず一部の社會より誤解を招く事となれるは實に氣の毒なる次第にして師は之れが爲め種々惑はれつゝあり折柄大阪北區上福島三丁目加藤長七翁（六十）と云ふ者て二合息を同病の爲め失ひ更に嗣子をも奪はれんとせし際師に救はれたる此の方殊に歸依深き者特には既に風月を友として樂き餘生を送る隱居の身を以て亡息の追善として師に代り私財を拋ち汎く同病者の救助を思立ち何人でも申込次第肺結核奇藥自療法と題する書物を無代頒布せられつゝあり同書は各齒藥商等の無代進呈と號する自家製劑の廣告的說明書と異なり鈴木博士其他の稱讚を與へられたる最新の療養法と用ふべき藥劑の處方をも親切に明記したる有益のものなりと

其日より金になる仕事

不景氣の爲め失職を喞ちつゝある人は麻絲編結機を求め斯業に就くが最も金儲の早道なり然れども不完全の機械を購求する時は却つて損害を招く惧れあれば希望者は今回マニラ商會にて發賣せる伴野式麻絲編結機を購入するが最も安全なるべし同商會にて販賣する機械は市井に散在する無責任の機械屋と異なり販賣せし機械の若し故障の豫想と相違する場合は十箇月以內なれば二割引にて買戾しをなすべき責任保證を附しあれば安全なるは勿論推して本機の優秀なるを知るべし其價は一臺金五圓にて全部金屬製なれば永久の使用に堪ふべし其詳細は東京市本所區番場町覺四マニラ商會に返信料を添へ照會せば說明書無代郵送す尙同商會は希望者に任せ少しく拘らずマニラ麻を分讓し編上げたる製品は現金にて永久買取りをなすべし

姓名と人の運命

不運に泣く者の參考

美人美酒の在る所、世は長への春にして霜枯の秋を知らず。金錢を木の葉の如く蒔き散らす大盡あり、蝶さへ凍る霜の夜中に一錢二錢の鍋燒饂飩を賣り步く男あり人樣々の運命は死して後迄も、城の如き大碑の下に安らけく安眠する人もあれば、餓えて粘骨を草原に曝し鳥に啄まるゝもあり、斯くも禍福の懸隔甚だしく一寸先が闇なる人の運命は抑も如何なる宇宙の原則より來るか、道は何人も知る能はざる千古の疑問なりしが近世哲學の新智識に依り始めて各人の姓名の文字に在る事を闡明せられたり目下此の姓名學に造詣深き大家は東京市牛込區築土八幡町廿一番地林先鳳先生なるが先生は姓名判斷術に命名眞理姓名の寶典一卷を著し今又命名寶典一卷を著述す本書は恐ろしき程人の運命に適中し人心の觀破事業の興敗結婚の吉凶生兒の命名其他人事百般に適用して各自立身出世の資料となすを得べし今林先生は斯學普及の爲め生年月日職業を明記し料金五十錢添へ申込めば其人一代の運勢を誠實に鑑定し同時に命名寶典を無料贈與せらるゝ由自身の不運を喞ちつゝある人は宜しく先生の識鑑定を乞うて處世の方針を定め併せて幸福の天健たる命名寶典を子孫に傳へ護身の要となさん事を勸むるものなり

創製者は醫師の妻

▲腦病と喘息の新奇藥

某合醫師夫人の創製せる奇藥は不思議の效をして今回東京芝區南佐久間町一丁目二番地上山銳彥氏より汎く江湖に頒布することゝなりて何人にても三錢切手封入照會せば懇切なる說明を無料にて贈與さるべし此藥は脫脂綿に滲ませ鼻孔より吸入するのみにて安全簡易に腦病喘息を治癒せしめ殊に腦神經衰弱眩暈頭痛鼻づまり等には豫想外の効驗顯るゝ藥なれば患者は一日も早く實驗する新劑として報道する所以なれば今日迄種々の療法に失敗し自ら不治の難症と悲觀しつゝある患者は最後の手段として是非共試むべき樣特に勸告す

ばい毒素人治療

ハガキで申込め內容書……無代送呈

化學上の新智識を簡易の內服藥に應用せしものにして時日、苦痛、費用をも要せず自宅に於て安全經濟に其奏効も又偉大なる簡便家庭新自療法なり。

東京本所向島小梅町　東京藥化學研究所

七ふく癪藥

本劑は逆上を引下げ胸の痞を開き大小便の通じを快くし、疝癪、痞痰（俗にひゑ、しつ、かさ）脂瘡其他皮膚一切の諸病脚氣水腫に定評あり

藥價　中週分七ふく入金拾五錢　壹週分十四ふく入金參拾錢　三週分四十二ふく入金八拾錢　五週分七十ふく入金壹圓廿錢

本家　大阪高津表門筋松屋町四　七ふくや　伊藤長兵衛

中島醫院

內科　小兒科　入院隨意

京城明治町（元善隣學校跡）中島醫院　電話三七八番

院長　中島貞信

優等銘酒

歲暮贈答用最適當品　品質卓絕中味豐富

金露印　清酒　大塚吟醸

發賣元　大塚京城支店　京城南大門通二丁目　電話長四〇一番　振替京城五七〇番

診察時間

自午前九時至午後六時　初診の御方は可成午前中

京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）　シメノウチ齒科醫院　電話八一二番

家庭內職生大募集急告

京城黃金町四丁目（電話二六五二番）　全儲之覇王　日之出護謨商會

▲弊會は朝鮮に於る新案美術ゴム品製造界の元祖本業は土地遠近老幼男女山間僻地を問はず自宅で出來資本十圓內外月收廿圓以上其製品弊會引受永遠取引年中無休海外輸出前途有望の好職業志望者は來店又は郵券十錢送れ製品見本就業案內書送呈平北諸氏新義州特約店三友社へ

▲大正式自轉車人力車各タイヤ修繕器機械大賣出　弊會發案の大正式タイヤ修繕機械は從來內地等に在る衛式機械と全く異り大改良天下無雙の最新式機械に付工業者は勿論家庭用に最適當志望者は來店又は郵券四錢送れ就業案內書送呈今回百名限り左の大景品付販賣す

▲自轉車景品付大賣出急告　弊商會發賣の自轉車　日之出號インバイヤ號タイム號バード號　堅牢無比の天下一品而も價格廉價此際開業披露の爲め左の大景品付大賣出す　一等自轉車貳臺　三等タイヤ五組　四等修繕機五臺　五等ゴム糊百個　空籤無し

大日本優清酒等　ハクツル

品質純良　衛生無害　白鶴

醸造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社

發賣元　京城本町四丁目十四番戶　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

酒精アルコール

直輸入元　仁川花町（電話六五〇番）電略（サ）振替口座京城五八二番　坂倉伊平商店

京城吉野町一丁目（電話二四四一番）　坂倉伊平支店

商況

大阪株式特電

東京株式特電

大阪期米特電

十四日の二月限